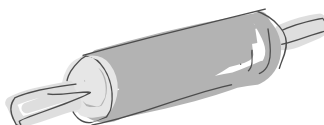
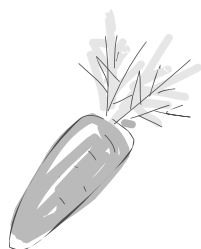
TOSHIBA

東芝冷凍冷蔵庫　家庭用

取扱説明書

形　名

GR-NF415G（右開き）
GR-NF415GL（左開き）
GR-NF465G（右開き）
GR-NF465GL（左開き）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

●このたびは東芝冷凍冷蔵庫をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りください。

GR-NF415GL、NF465G、NF465GLをお買い上げのお客様へ
この説明書はGR-NF415Gで説明していますが、ご使用方法は同じです。

ノンフロン冷蔵庫

冷媒と発泡断熱材にフロンを使用せず、地球温暖化へ影響が非常に少ない、地球環境に配慮した冷蔵庫です。

省エネ冷蔵庫

DSPインバーターを採用して、圧縮機の始動時に発生する電力の効率化を行うとともに、真空断熱パネルの採用により、電気代を大幅に抑えた冷蔵庫です。

ツインプラズマ

冷気の通路に設置した2つのプラズマユニットの働きにより、きれいな冷気で食品を新鮮・清潔に保存します。
- 冷蔵室・野菜室は光プラズマユニットの働きで、庫内のにおいやエチレンガスを分解し、冷気の除菌作用(*1)により食品の鮮度を長持ちさせます。
- 冷凍室・アイスルーム・切替室はプラズマユニットの働きで、庫内のにおいを分解し、冷気の除菌作用(*2)により食品や氷を清潔に保存します。

(*1)光プラズマの除菌作用
試験依頼先：財団法人 北里環境科学センター
試験方法　：アトマイザーアセンブリを用いた浮遊細菌測定試験
除菌方法　：ユニットに対象空気循環流通
除菌対象　：庫内循環空気

(*2)プラズマの除菌作用
試験依頼先：財団法人 日本食品分析センター
試験方法　：細菌消長試験（寒天培地）
除菌方法　：ユニットに対象空気循環流通
除菌対象　：庫内循環空気

電動タッチオープンドア

冷蔵室扉はタッチスイッチを軽く押すだけで、扉が開きます。(7ページ参照)

操作パネル

- 庫内の温度や切替室の使用状態などがひと目でわかります。(11ページ参照)
  また、お料理の時に便利なキッチンタイマー機能が付きました。

(キッチンタイマー……14ページ参照)

自動製氷機

- 給水タンクに水を入れセットするだけで自動的に氷をつくります。(24ページ参照)
- 給水タンクや給水経路、製氷皿がお手入れできる機構ですので、清潔にお使いいただけます。

エアーカーテン

冷蔵室の天井に設けた吹出し口から冷気を吹出すので、扉を閉めているときは庫内の温度ムラを防ぎ、扉を開けても約10秒間、冷気が吹出し、庫内の冷気もれを防ぎます。

切替室

冷凍・ソフト冷凍・パーシャル・チルド・冷蔵・野菜・ワインまで切替わり、操作パネルで使用状態がひと目でわかります。
(22ページ参照)

一気冷凍・一気製氷

一気冷凍・一気製氷の2つの機能が付き、フリージングや製氷時間を短縮します。
(一気冷凍……21ページ参照)
(一気製氷……25ページ参照)

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

つづく…

● お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告　"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容"を示します。

注意　"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容"を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

強制　●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

注意　△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

貯蔵禁止
引火しやすいものは入れない
エーテル・ベンジン・アルコール・薬品・ＬＰガスなどは爆発し、事故の原因になります。

プラグを抜く
お手入れのときは、電源プラグを抜く
感電やけがの原因になります。手がぬれているときは、よくふいてから電源プラグを抜き差ししてください。

禁止
扉にぶらさがったり、乗ったりしない
倒れたり、扉がはずれたり、手をはさんだりして、けがをする原因になります。

100V・15A以上
電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する
延長コードの使用、タコ足配線は火災・感電の原因になります。

分解禁止
分解･改造･修理をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

貯蔵禁止
医薬品や学術試料は入れない
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

強制
電源プラグはコードが下向きになるように差し込む
コードに無理がかかったりして、火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
異常時や故障のときは、電源プラグを抜き運転を停止する
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

水気禁止
湯気のかかる所や、水のかかる所へは据えつけない
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

水かけ禁止
本体や庫内に水をかけない
電気絶縁が低下し、火災・感電の原因になります。

腐敗食品食べない
異臭がしたり変色した食品は食べない
食中毒や病気の原因になります。

禁止
電源プラグや電源コードを傷つけたり、冷蔵庫の背面で押しつけない
束ねたり、折り曲げたり、重いものを載せたり、冷蔵庫の背面で押しつけたりすると、火災・感電の原因になります。

接触禁止
自動製氷機の製氷部分（アイスルームの上部）には手を触れない
製氷皿が回転したとき、けがをする原因になります。

⚠警告

使用禁止
可燃性スプレーを近くで使わない
引火して火災の原因になります。

プラグを抜く
庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く
抜かずに行なうと感電の原因になります。

使用禁止
傷んだコードや電源プラグ・コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く
コードを持って抜くと、破損し、火災・感電の原因になります。

プラグをふく
電源プラグのほこりは定期的に取る
絶縁不良になり、火災の原因になります。

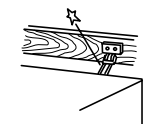
指定の定格使う
庫内灯は指定の定格のものを使用する
指定以外のものを使うと火災の原因になります。

禁止
上に水など液体の入った容器や物を置かない
こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、火災・感電の原因になります。また、落下しけがをする原因になります。

根元まで差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

パッキンはずす
廃棄処分するときは、扉パッキンをはずす
幼児が閉じ込められ事故の原因になります。

転倒防止する
地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする
振動により転倒し、けがをする原因になります。

アース線を必ず接続せよ
湿気の多い所や、水気のある所で使うときは、アース（接地）および漏電ブレーカーを取り付ける
取り付けないと、漏電したときに火災・感電の原因になります。

換気する
ガスもれがあったときは、冷蔵庫や電源プラグに触れず窓を開けて換気する
電気接点の火花で引火爆発し、火災・けが・やけどの原因になります。

⚠注意

水平に据えつける
床が丈夫で水平な所に据えつける
不安定な所は転倒してけがをする原因になります。

貯蔵禁止
冷凍室・切替室（冷凍・ソフト冷凍・パーシャル・チルドのとき）にビン類を入れない
中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

禁止
食品は棚より前に出さない
ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをする原因になります。

禁止
ダブルボトルポケットの前列には、底まで入らないボトル類は入れない
ビール大ビンなどを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをする原因になります。

禁止
野菜室扉を開けるときは、冷蔵室扉のタッチスイッチに触れない
タッチスイッチに触れると、冷蔵室扉が開き、指がはさまれ、けがをする原因になります。

禁止
自動扉は背中などで押して開けない
背中などで押したりすると、扉に背中などを押され、けがをする原因になります。

安全上のご注意…つづき

⚠注意

接触禁止

冷蔵庫底面には手や足を入れない
鉄板などで、けがをする原因になります。

ハンドルを持つ

扉を閉めるときは、ハンドルを持って閉める
ハンドルを持たないと、指をはさんでけがをする原因になります。

ぬれ手禁止

冷凍室・切替室（冷凍・ソフト冷凍のとき）の食品や容器（金属製）には、ぬれた手で触れない
低温のため凍傷の原因になります。

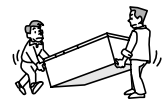
自動扉オフにする

幼児などが自動扉でいたずらするときは自動扉オフにする
自動で開いた扉で、けがをする原因になります。

取っ手を持つ

運搬するときは、前面下部と背面上部の運搬用取っ手を持つ
取っ手を持たないと、手がすべってけがをする原因になります。

強制

扉を開閉するときや、他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉で指をはさまないか確認する
扉のすき間に指をはさみ、けがをする原因になります。

使用禁止

傷付きやすい床の上では、冷蔵庫下部のキャスター(車輪)は使用しない
床に傷をつける原因となります。
移動するときは保護用の板などを敷いてください。

冷媒について

現在、多くの冷蔵庫で使用されている冷媒は、フロン類（不燃性）ですが、この冷蔵庫の冷媒及び断熱材には、炭化水素を使用しています。炭化水素は、地球温暖化に与える影響は少ない物質ですが、天然ガスの一種で可燃性です。
冷媒は冷媒回路に密封されており、通常はもれ出すことはありません。

⚠警告

冷媒回路を傷つけない

運搬・据えつけ・お手入れのときに背面・側面などの冷媒回路を傷つけない
傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は以下の事項を行い、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センター（フリーダイヤル 0120-1048-41）にご連絡ください。
1.窓を開けて室内の換気を充分に行う。（換気扇を使用しないでください。）
2.火気や電気製品の使用を避ける。

すき間をあけて据えつける

冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据えつける（8ページ参照）
冷媒がもれた場合、滞留し、発火・爆発の原因になります。

禁止

修理は、修理技術者以外しない
冷媒回路に傷をつけると発火・爆発の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

禁止

庫内で電気製品を使用しない
冷媒がもれた場合、発火・爆発の原因になります。

強制

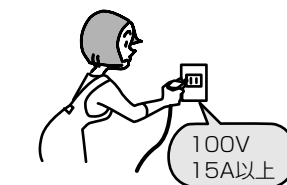
廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置し、冷媒がもれると、火気による発火・爆発の原因になります。

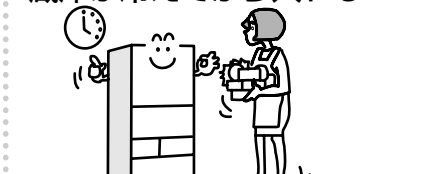
運転から食品を入れるまで

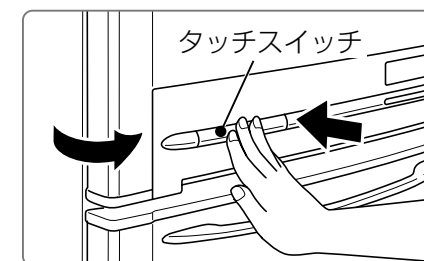
1 冷蔵庫を運転させる

- **電源プラグは据えつけ直後、コンセントに入れることができます。**
- 最初はプラスチックのにおいがしますが、冷えると消えます。

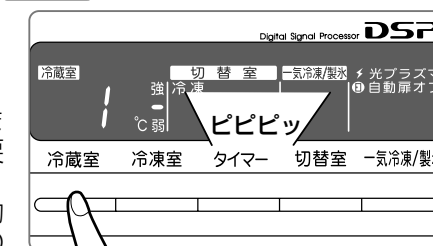
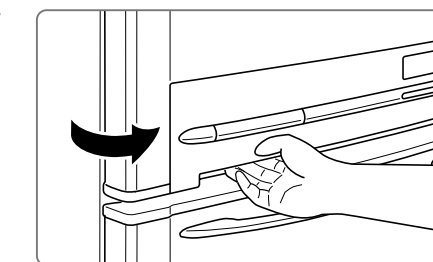
庫内をふき

プラグを単独のコンセントに入れ

切替室を切り替える
（22ページ参照）

冷えていない食品やアイスクリームは、3～4時間後、冷蔵庫が冷えてから入れる

2 扉を開ける

冷蔵室の扉はタッチスイッチを軽く「押す」だけで、冷蔵庫本体のピンが扉を押して軽く開きます。
このときピンが動作する「ポコン」という音がします。
※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

自動扉オフ（自動扉解除）のしかた

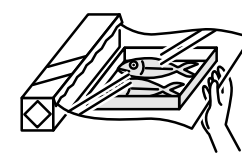
すべての扉を閉めた状態で、(冷蔵室)ボタンを5秒以上押す。

アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、表示パネルに「自動扉オフ」が表示され、自動扉が解除されます。
このとき温度調節位置が移動しますが、アラーム音と同時に元に戻ります。
なお、操作のしかたによって移動したままになることがありますので、設定位置を確認してください。

「自動扉オフ」のときは、ハンドルを引いて開けてください。

自動扉オフを解除する（自動扉にもどす）
自動扉オフのときと同じ操作をしてください。

3 食品を入れる

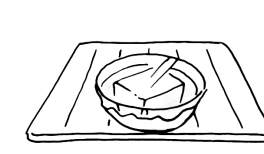
さます

熱いものは庫内の温度が上がります。

包む

乾燥やにおい移りを防ぎます。

すき間をあける

詰めすぎると冷気の循環が悪くなります。

棚の手前に

水分の多い食品を奥に置くと凍ることがあります。

据えつけかた

⚠警告

冷媒回路を傷つけない

運搬・据えつけ・お手入れのときに背面・側面などの冷媒回路を傷つけない

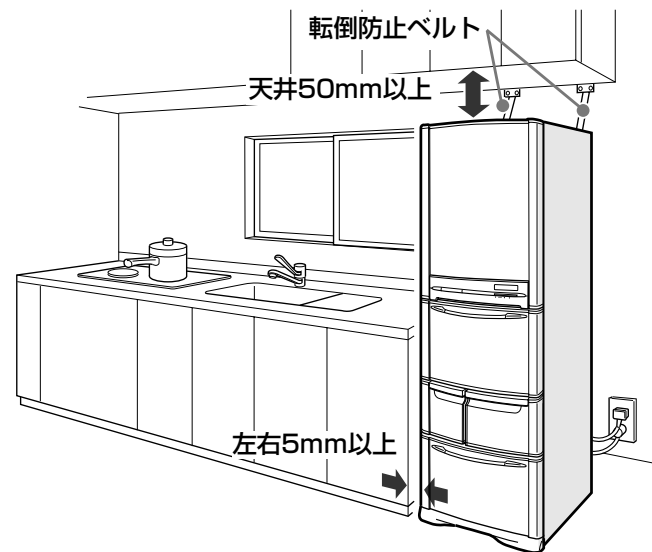
傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は以下の事項を行い、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センター（☎0120-1048-41）にご連絡ください。
1.窓を開けて室内の換気を充分に行う。（換気扇を使用しないでください。）
2.火気や電気製品の使用を避ける。

すき間をあけて据えつける

冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据えつける

冷媒がもれた場合、滞留し、発火・爆発の原因になります。

1　場所の選びかた

- **熱気・直射日光の当たらない所に置く**
  冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
- **周囲にすき間をあける**
  すき間が少ないと冷却力が低下し、製氷時間が長くなったり電気代のムダになります。
- 冷蔵庫が壁などに触れ、振動音がしたり、壁材などが変色するので、少し離してください。
- 冷蔵庫の据えつけ状態により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。

2　アースのしかた

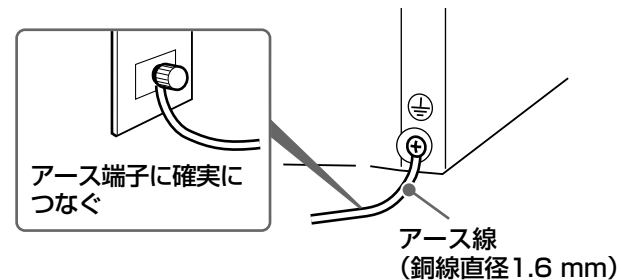
次の場所で使うときは、アース（接地）および漏電ブレーカーを取り付けてください。
- 地下室など湿気の多い所
- 土間・洗い場の床など水気のある所
- その他湿気の多い所や水気のある所

そのほかの所でも万一の感電事故防止のために、アース（接地）することをおすすめします。
アース（接地）および漏電ブレーカーの取付工事（有料）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

コンセントにアース端子がある場合

アース線（付属していません）を使い、背面下部のアース線取付用ねじに接続してください。

接続してはいけない所

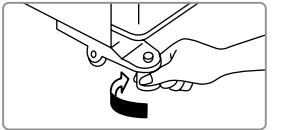
水道管やガス管（爆発や引火の危険があります。）
電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険です。）

アース端子がない場合

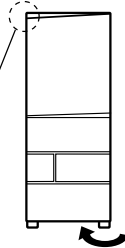
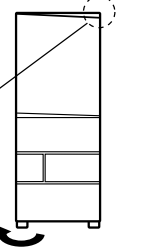
お買い上げの販売店に依頼し、D種接地工事（有料）をしてください。

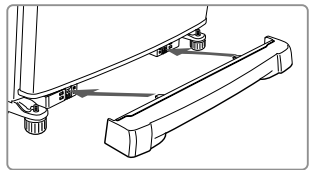
3　冷蔵庫を固定する

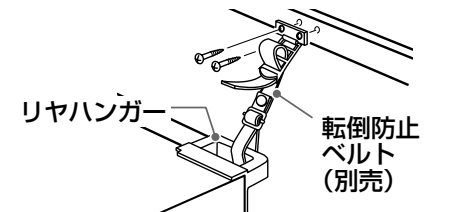
- **床がじゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製などの場合、冷蔵庫底面の熱により変色することがありますので丈夫な板を敷いてください。**

1 冷蔵庫を安定させる

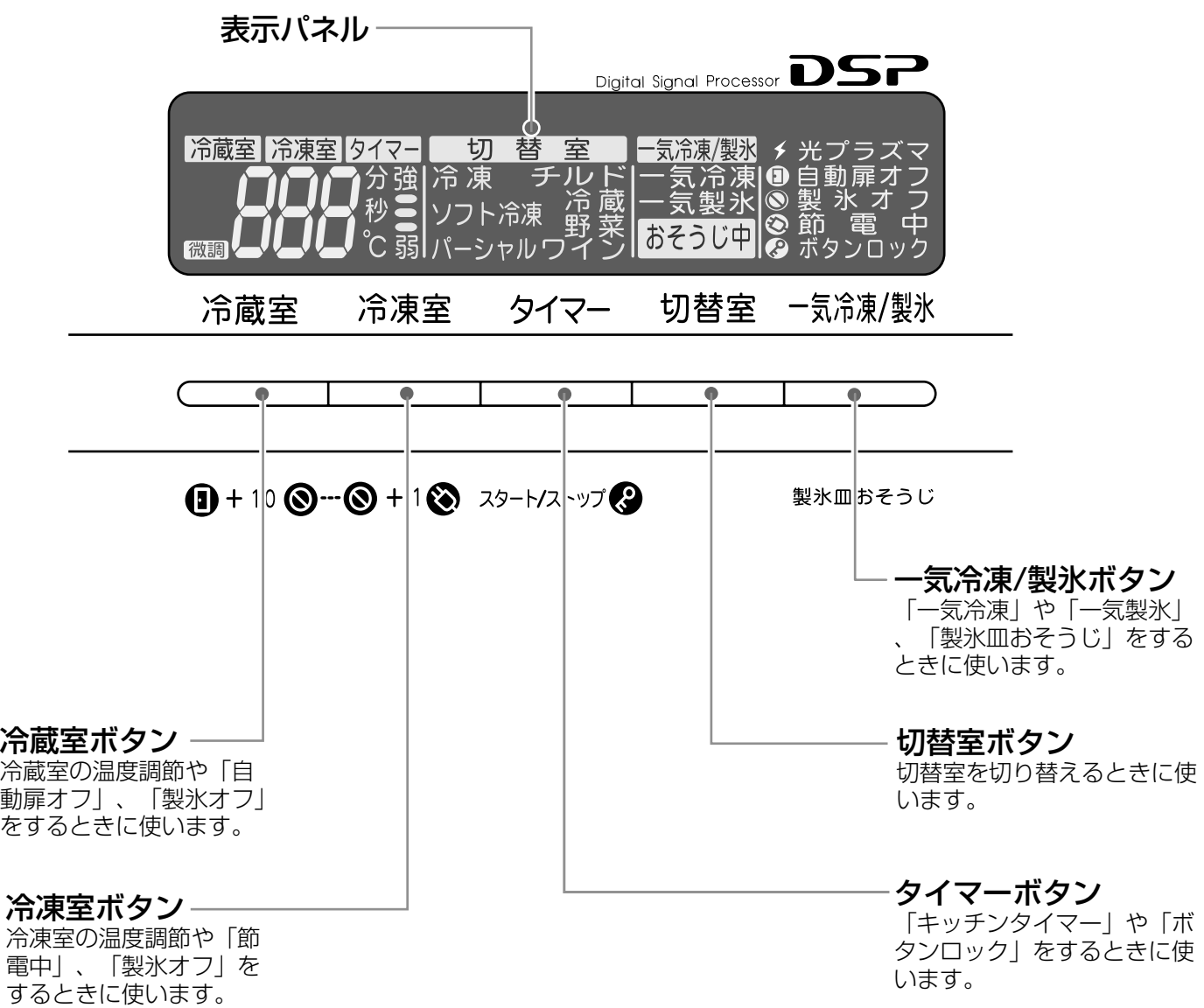
左右の調整足を矢印方向に回して、調整足を床につけてください。

2 平行度を調整する

- 据えつけ後食品を入れてから扉下がりが生ずることがありますので、据えつけてから4～5日後に再度、扉の平行度を調整してください。

3 前面グリルを所定の位置に取り付ける

前面グリルの中に固定してある配線図は取りはずさないでください。

- **万一の地震にそなえて**

転倒を防ぐため、背面にある左右のリヤハンガーに鎖やベルト（別売品：部品コード90007030）などを通し、丈夫な壁や柱に固定してください。
転倒防止ベルトはお買い上げの販売店にご相談ください。

操作パネルと温度調節

操作パネルの各部のなまえ

● お使いの冷蔵庫の表示パネルが説明のものと異なり、明暗が反転している場合があります。これは、キャビネット色により仕様が異なるためで、ご使用方法は同じです。

お知らせ

- ●「ボタンロック」を設定すると、「ボタンロック」解除以外のボタン操作はできません。
- ●冷蔵庫に異常が発生したときには、表示パネルのメニュー項目表示が全て同時に点滅しますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。（くわしくは35ページ参照）

庫内温度表示について

- ●霜取り中および霜取り終了後は、庫内の温度が上昇し、一時的に表示温度が高くなりますが、冷却運転と共に徐々に元の温度に戻ります。
- ●夏場など周囲温度が高いときに、冷えてない食品を多量に入れたり、扉の開閉などにより、庫内の温度が上昇し、食品の温度より高い数値を温度表示することがあります。このような場合、温度調節を「強」側にし、扉の開閉をひかえてください。
- ●庫内温度表示はJIS（日本工業規格）で定められた庫内の測定場所に対する食品相当の目安の温度を表示しています。（庫内の空気温度とは異なります。）従いまして、食品の貯蔵場所によっては表示温度とは多少異なります。

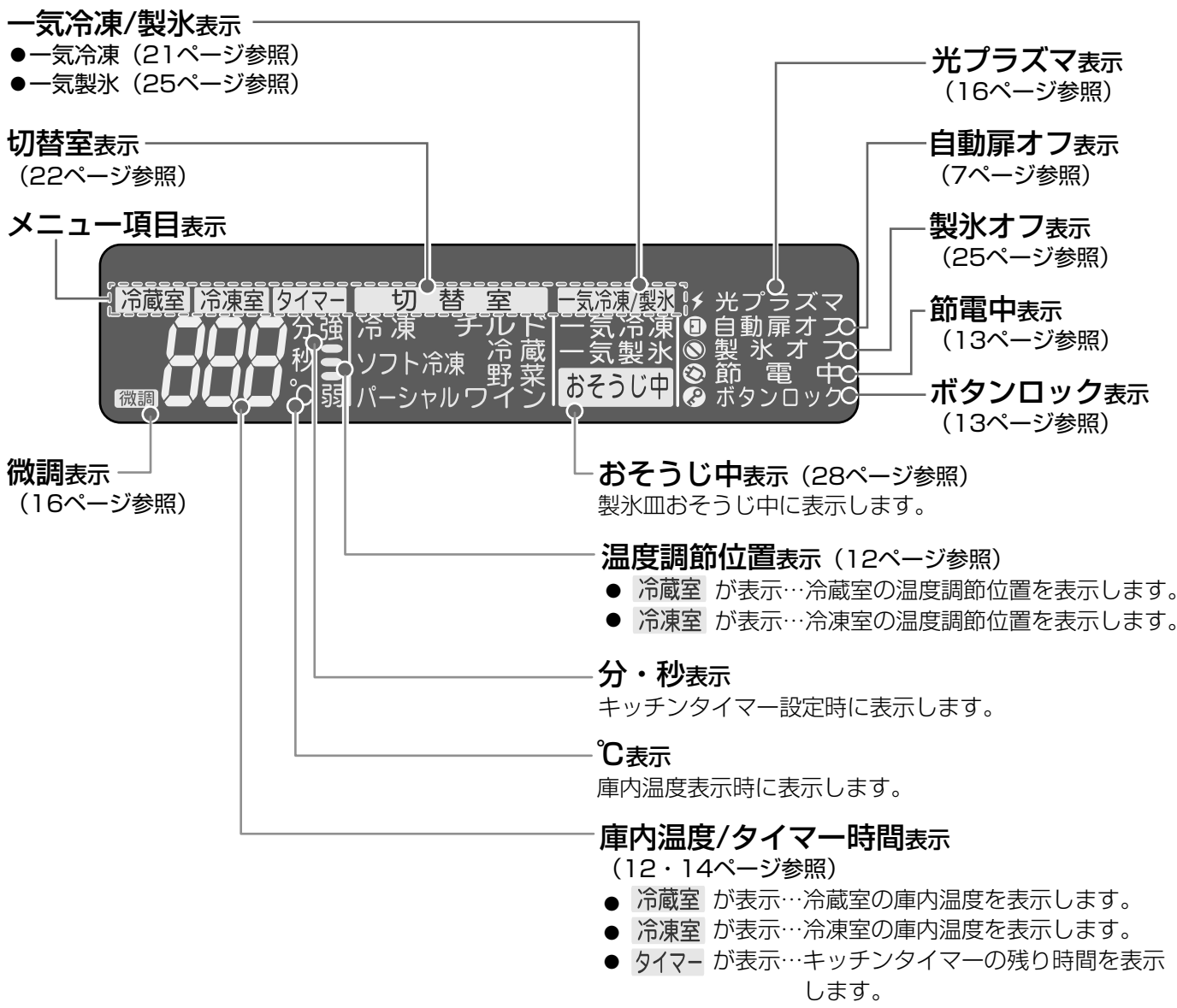
●「操作パネルの各部のなまえ」および「表示パネルの各部のなまえ」で記載している表示パネルの内容は、説明用として全ての内容を表示しています。実際にお使いになるときの表示とは異なります。

表示パネルの各部のなまえ

お使いはじめ

据えつけ時など庫内が冷えていないときには、温度表示は「H」を表示します。

●庫内が9℃以下になると、数字による温度表示に変わります。「H」表示から数字による温度表示に変わるまで約3〜4時間かかります。（周囲温度25℃、食品を入れずに扉を開閉しないときの目安です。）なお、夏場など周囲温度が高いときや、冷えていない食品を多量に入れると、半日以上かかることがあります。

冷蔵室の「H」表示例

庫内温度の計り方

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理の下で生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据付状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。従って、一般の空気温度を計る温度計は変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。ご購入の際はお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、一般のアルコール温度計で冷蔵室内の食品相当温度を計る場合は、冷蔵室中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

操作パネルと温度調節…つづき

温度調節のしかた

温度調節したい室のボタン（冷蔵室ボタンまたは冷凍室ボタン）を押して行います。
※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

- 冷蔵室、冷凍室は庫内の温度を弱〜強まで5段階に設定することができます。
- 普段は「強」と「弱」の中央の位置で。なお、強く冷やしたいときは「強」側へ。冷えすぎるときは「弱」側へ。
- 温度微調節もできます。（16ページ参照）
- 「キッチンタイマー」動作中は温度調節ができません。

1 ボタンを1回押す。

表示パネルの照明と温度調節したい室名が点灯します。

- 表示パネルの照明が点灯中に、温度表示している室のボタンを押すと、温度調節位置表示が移動します。

2 表示パネル点灯中に設定したい温度調節位置になるまでボタンを押す。

ボタンを押すたびにアラーム音が鳴り、温度調節位置表示が移動します。

- ボタン操作を約10秒間中断すると、表示パネルは消灯し、その時点での温度調節位置に設定されます。ご希望の温度調節位置に設定できなかったときは、再度、手順1からやりなおしてください。
- 温度調節を「弱」または、「強」位置にすると、表示は「弱」または、「強」の文字表示だけになります。
- 「強」位置にセットしたときだけ、アラームは「チピピッ」と鳴ります。
- 温度調節設定後の温度表示は、温度調節した室の表示になります。

「強」にセットしたときの表示例

温度調節位置と庫内温度

- 表の温度は、周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉め温度が安定したときに測定した値です。
- チルドルームと野菜室の庫内温度は、冷蔵室の温度調節位置を変えると、共に変化します。
- 切替室は温度調節できません。23ページに表示された温度をご覧ください。

通常
（強と弱の中央）

	温度調節位置		
	弱	通常（強と弱の中央）	強
冷蔵室	中央位置より3〜4℃高くなります。	約1〜2℃	中央位置より1〜2℃低くなります。
冷凍室	中央位置より2〜3℃高くなります。	約−18℃〜−20℃	中央位置より2〜3℃低くなります。

冷蔵室 強 L ℃ 弱

- **冷蔵室の庫内温度が0℃未満になると、冷蔵室の温度表示は「L」を表示します。このようなときには、温度調節を「弱」側にしてください。**

温度表示の切り替えかた

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

温度表示させたい室のボタン（冷蔵室ボタンまたは冷凍室ボタン）を押す。

- 表示パネルの照明が点灯中に、温度表示している室のボタンを押すと、温度調節位置表示が移動します。このようなときは、温度調節を行い、元の温度調節位置に戻してください。

ボタンロックのしかた

お子様などが誤ってボタンを操作しても、動作しないように押しボタンがロックできます。
ボタンロック中にいずれかのボタンを押すと、ボタンロック表示が点滅してボタンがロックされていることをお知らせします。

すべての扉を閉めた状態で、タイマーボタンを5秒以上押す。

アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、「ボタンロック」表示が点灯し、ロックされます。

- 温度表示がタイマー表示に変わりますが、アラーム音と同時に元に戻ります。

ボタンロックを解除する

ボタンロックのときと同じ操作をしてください。

節電中（節電運転）のしかた

- **節電中（節電運転）を設定すると、夜間や外出等で扉開閉の少ないときなどは圧縮機が低速運転します。**
  なお、一気冷凍・一気製氷のいずれかを設定中に節電運転は設定できません。

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

すべての扉を閉めた状態で、冷凍室ボタンを5秒以上押す。

アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、「節電中」表示が点灯し、節電運転が開始します。

- 操作のとき、設定表示が移動することがありますが、アラーム音と同時に元に戻ります。
  なお、操作のしかたによって移動したままになることがありますので、設定位置を確認してください。

節電中を解除する（節電運転を中止する）

節電中のときと同じ操作をしてください。

お知らせ

- 節電中（節電運転）設定中に扉の開閉数が多いとき（1時間当たり9回程度）や、「一気冷凍」・「一気製氷」のいずれかを設定すると、自動的に節電運転は解除され、通常運転に戻ります。

表示パネルの照明について

普段は省エネのため、表示部はやや暗い照明にしてあります。

表示部の照明を一時的に点灯させる

冷蔵室冷凍室のいずれかのボタンを1回だけ押す。

約10秒間照明が点灯します。庫内温度などを確認するときに押してください。
操作パネルの照明は、10秒以上操作を中断すると自動的に元に戻ります。
なお、次の操作をすると、アラーム音が鳴り、押されたボタンの機能が動作します。

・ボタンを5秒以上押し続けたとき。
・照明点灯中に温度表示している室のボタンを押したとき。

表示部の照明を消灯させる

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

すべての扉を閉めた状態で、冷蔵室冷凍室一気冷凍／製氷ボタンを同時に5秒以上押す。

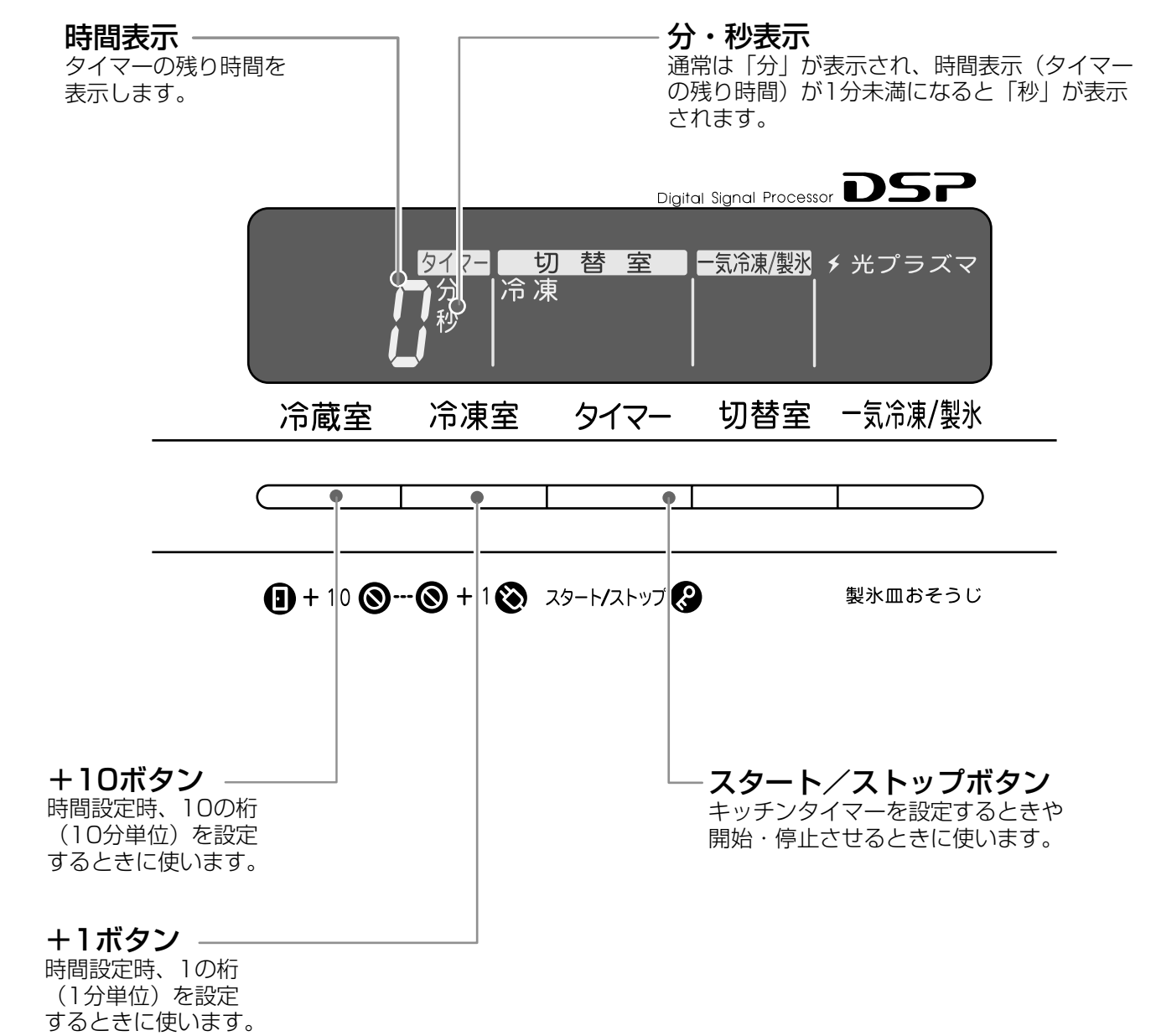
アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、照明が消灯します。
（ボタンを操作した後の10秒間だけ照明が明るくなります。）
元に戻すときは、同じ操作をしてください。

- 操作のときに、設定表示が移動することがありますが、アラーム音と同時に元の状態に戻ります。
  なお、操作のしかたによって移動したままになることがありますので、設定位置を確認してください。

キッチンタイマーの使いかた

食品の調理時間などをお知らせするキッチンタイマーとしてお使いください。
● 設定できる時間は、1～99分までで1分単位で設定できます。

各部のなまえ

キッチンタイマーの説明用として必要な内容を表示しています。実際にお使いになるときの表示とは異なります。

キッチンタイマーの使いかた

タイマーを動かす

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。
● 時間設定中にボタン操作を約10秒間中断すると、自動的にタイマー設定は解除されます。
●「おそうじ中」表示（11ページ参照）が点灯または点滅しているときは、キッチンタイマーは設定できません。（「おそうじ中」表示が消灯するまでキッチンタイマーは設定できません。）

1 (スタート/ストップ)ボタンを1回押す。

表示パネルの照明と「タイマー」表示が点灯し、時間表示「0」が点滅します。
● この状態で(スタート/ストップ)ボタンを押すと、アラーム音が「ピチチッ」と鳴り、タイマーは終了します。

2 設定したい時間が表示されるまで(＋10)ボタン（10の桁の時間設定）と(＋1)ボタン（1の桁の時間設定）を押す。

ボタンを押すたびにアラーム音が鳴り、時間表示が変わります。

3 (スタート/ストップ)ボタンを押す。

アラーム音が「ピー」と鳴り、タイマーがスタートします。タイマー動作中は「タイマー」表示が点滅します。
● タイマーの時間表示は残り時間が表示されます。例えば、設定時間を25分にしたとき、(スタート/ストップ)ボタンを押した直後は残り時間が24分59秒となるため、時間表示は「25」から「24」になります。

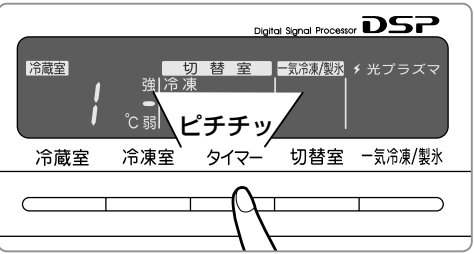
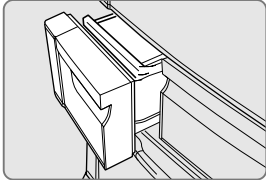
なお、タイマーの残り時間表示が1分未満になると、時間は秒表示になります。

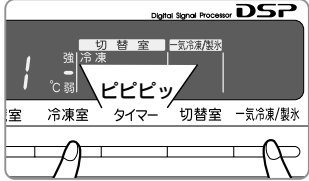
4 設定した時間になると自動終了。

アラーム音が「ピピピッピピピッ…」と鳴り、お知らせします。
● アラーム音を止めるときは、いずれかのボタンを押すか、30秒間放置すると、自動的に止まり、タイマー設定前に表示していた室の庫内温度表示に変わります。

キッチンタイマーを途中で終了する

(スタート/ストップ)ボタンを押し、表示パネル点灯（約10秒）中に、もう一度(スタート/ストップ)ボタンを押す。（表示パネル点灯中は1回だけ押す。）

アラーム音が「ピチチッ」と鳴り、タイマーが終了し、タイマー設定前に表示していた室の庫内温度表示に変わります。

こんな機能があります

ツインプラズマ

冷気の通路に設置した2つのプラズマユニットの働きにより、きれいな冷気で食品を新鮮・清潔に保存します。なお、臭いを移しやすい食品（らっきょう、たくあん、ぎょうざ など）がないときなど、ツインプラズマの運転を停止（節電）させることができます。

ツインプラズマの停止のさせかた

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

1 **アイスルーム扉を引き出したままにする。**

2 **(冷凍室)(一気冷凍/製氷)ボタンを同時に5秒以上押す。**
アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、「光プラズマ」表示が消灯し、ツインプラズマの運転は停止します。

3 **アイスルーム扉を閉める。**

操作のときに、設定表示が移動することがありますが、アラーム音と同時に元の状態に戻ります。なお、操作のしかたによって移動したままになることがありますので、設定位置を確認してください。

再び、ツインプラズマの運転を開始するときは、同じ操作をしてください。

ドアアラーム

扉の閉め忘れ防止のためにドアアラームを取り付けました。

扉の開放時間	アラーム音
1分後〜2分後	1分毎にアラームが5回鳴ります。
3分後以降	連続で鳴り続けます。

- 冷蔵室・冷凍室・アイスルームのいずれかの扉が開いていると、上表のようにアラームが鳴り、表示パネルの照明が点滅します。
  （切替室・野菜室は鳴りません。）
- アラーム音は扉を閉めると止まり、表示パネルの照明も消灯します。
- 扉の開きかたが少ないときは鳴りません。（食品の袋などが、はさまったときなど）
- すべての扉を閉めても、アラームが止まらないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、この鳴り続いているアラームは、電源プラグを抜き、再び差し込むと3分後以降は鳴りません。

温度微調節のしかた

冷凍室、冷蔵室、切替室（冷凍のみ）で温度微調節ができます。
設定できる温度は冷凍室が0.4℃、冷蔵室は0.1〜0.5℃、切替室（冷凍）は1〜2℃刻みです。従いまして、庫内温度表示が変化しない場合があります。

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

1. すべての扉を閉めた状態で、(冷凍室)ボタンを押しながら、(一気冷凍/製氷)ボタンを3回押す。
（「微調」表示が点灯します。）
2. 設定する室のボタンを押し、温度調節表示を 強または弱側に移動させる。
冷蔵室や冷凍室の温度調節を「通常」位置から微調節する例

温度調節位置（「弱」、○、「強」は普段選択可能な温度調節位置）	弱・・・・○・・・・○・・・・○・・・・強
手順2での温度調節表示	弱●●●強

3. 約10秒後、アラーム音が3回鳴り、「微調」表示が消灯し、温度微調節が完了します。

＊設定を解除するときは、通常の温度調節操作を行ってください。温度微調節が解除されます。

自動霜取りについて

この冷蔵庫は自動霜取り方式ですので、霜取りの操作は不要です。

内蔵された冷却器（外部から見えません）に付いた霜は、ヒーターやファンの風で自動的に霜取りされます。
また、霜取りでとけた水は、背面の蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。

JIS（日本工業規格）では、霜取り時の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇は5℃以下と規定されています。

食品の貯蔵場所

●温度表示は周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉め温度が安定したときに測定した値です。

冷蔵室（庫内）　約1〜2℃
調理済み食品・冷蔵小物・調味料など。

冷蔵室（ドアポケット）　約3〜4℃
調味料・ビン詰め素材・卵・チューブ入りの調味料・牛乳・ビール・ジュースなど。

チルドルーム　約0〜2℃
肉・魚・加工食品・発酵が進みやすい食品など。

野菜室スライドケース　約4〜7℃

野菜室　約4〜7℃
野菜・果物・ビン類など。

アイスルーム（自動製氷機）
自動的に氷ができます。
（24ページ参照）

切替室
冷凍・ソフト冷凍・パーシャル・チルド・冷蔵・野菜・ワインに切替えることができます。

冷凍室　約−18〜−20℃
冷凍食品・アイスクリームなど。

食品の貯蔵期間

貯蔵する前の鮮度や冷蔵庫の使用状態、フリージング方法などにより貯蔵期間は異なりますので、あくまで目安としてご覧ください。

温度帯	貯蔵場所	食品	貯蔵期間
冷蔵	冷蔵室	たまご	35日
		かまぼこ、ちくわ、ハム、ソーセージ	7日
チルド	冷蔵室のチルドルーム	かまぼこ、ちくわなどの加工食品	8日
		ヨーグルトなどの乳製品	7日
パーシャル	切替室	さば、いか	5日
		牛肉ステーキ、あじ、たい	10日
冷凍	冷凍室	バナナの皮をむいて	1ヵ月
		ほうれん草をゆでて、みかんを砂糖漬けにして、鶏肉、牛肉スライス、牛肉ステーキ	3ヵ月
		にんじんをゆでて	4ヵ月
ソフト冷凍	切替室	鶏肉、牛肉スライス、牛肉ステーキ	2週間
野菜	野菜室	みかん、いちご	5日
		レタス、ほうれん草、ねぎ、ぶどう	7日
		りんご、キウイ	14日

冷蔵室（鮮蔵室）

エアカーテン
(2ページ参照)

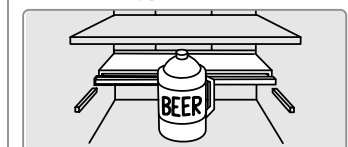
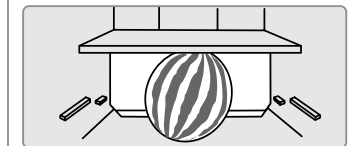
自動扉用ピン
このピンで扉を押しあけています。

庫内灯
15分以上、冷蔵室扉を開けていると、自動的に消えます。

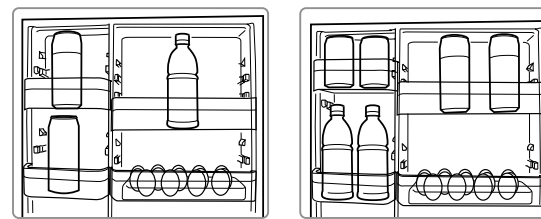
透明棚

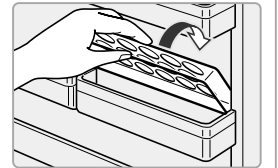
3アクション棚

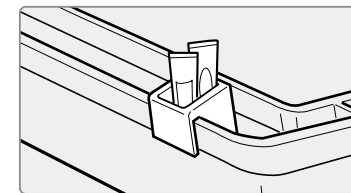
手前を持ち上げて押し込むと、ビール樽などが入ります。

BEER

さらに奥に立てるとスイカなどが入ります。

安全上の注意ラベル

自在ドアポケット(大)(小)
自在ドアポケット（大）（小）共に上段側は3段階に高さが調節できます。
また、下段側も共に２段階の調節ができます。

高さ調節による食品収納例

- 自在ドアポケットの取り付け・取りはずしかたは、31ページをご覧ください。
- 細長いビン類など特に不安定な物は入れないでください。扉の開閉で落下することがあります。

自在ドアポケット（大）には、卵ケースが1個付いています。この卵ケースを裏返すと小物入れとして使えます。卵のSサイズはパックごと小物入れの状態で入れることをおすすめします。

ミニポケット

ダブルボトルポケット
（スライド式チューブスタンド）
スライド式チューブスタンドにはチューブ入りの調味料が入り、ビン類の横倒れも防ぎます。

チルドケース

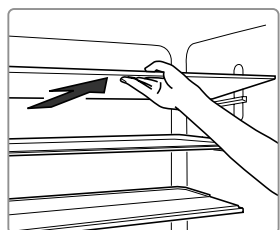
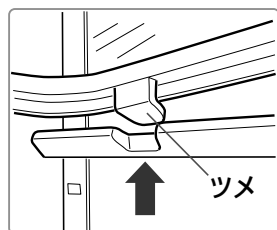
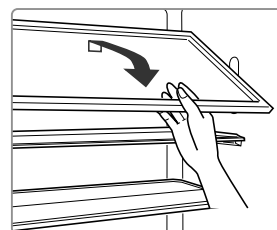
チルドルーム天井板

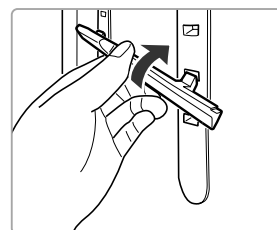
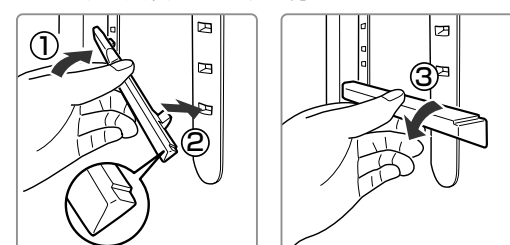
お知らせ　水分の多い食品を冷気の吹き出し口付近に置くと、凍ることがあります。また、庫内壁面等に露が付いたり、くもることがありますので、冷気の吹き出し口付近を避けて置いてください。

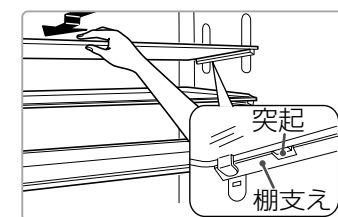
自在棚

自在棚の高さを変える

1 自在棚を取り出す

1 手前を持ち上げながら引き出し

2 自在棚裏面のツメを棚支えの溝からはずし

3 さらに引き出し、斜め下に取り出す。

2 庫内両側面の棚支えの位置を変える

1 棚支えの中央部を持ち、上に回転させてはずす。

2 棚支えの切り欠きがある側を手前にして、奥側のツメを先に角穴に入れ、次に手前側のツメを角穴に入れ、下に回転させて取り付ける。

3 自在棚を取り付ける

「自在棚を取り出す」の逆の要領で自在棚を取り付ける。
自在棚は確実に奥まで押し込み、突起が棚支えの溝に入っていることを確認してください。

お願い

- 自在棚の取り付け高さを調節するときは、食品を他の棚に移し左右の棚支えを同じ高さに調節してください。

使いかた

冷蔵室

野菜室（鮮蔵野菜室）

形名表示位置

野菜室スライドケース

- ケースの変形や割れを防ぐため、荷重は7kgまで。（GR−NF465G、NF465GLは8kgまで）
- 野菜室スライドケースの下にある野菜容器の食品を出し入れするときは、この野菜室スライドケースの手前を持ち上げながら押し込んでください。

野菜容器

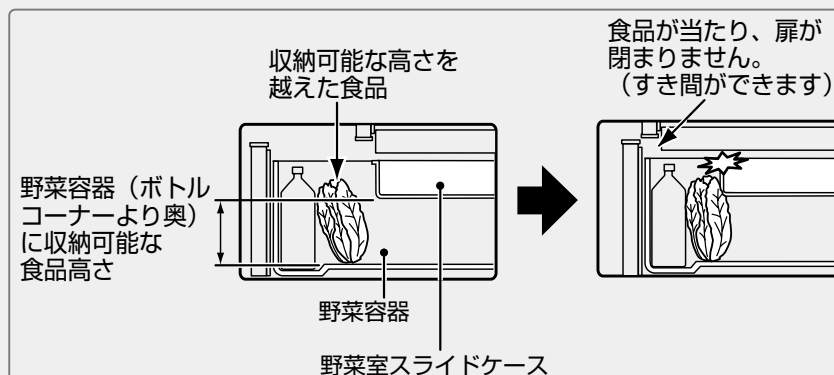
容器の変形や割れを防ぐため､荷重は18kgまで。（GR−NF465G、NF465GLは20kgまで）

ボトルコーナー

お知らせ

- 野菜から出た水分や水などが容器の底にたまることがあります。水がたまったときは乾いた布でふき取ってください。
- 野菜室スライドケースを取りはずしたままでご使用になりますと、食品が乾燥しやすくなります。
  必ず野菜室スライドケースを取り付けてください。
- 野菜の量や種類によっては、野菜容器や野菜室スライドケースに露が付くことがあります。露が付いたときは乾いた布でふき取ってください。

お願い

- 野菜容器（ボトルコーナーより奥）に入れる食品は、野菜室スライドケースの底面より上に出ないようにしてください。野菜室スライドケースに当たり、扉が閉まらなくなり、冷気がもれ、冷えが悪くなったり、露付きの原因になるばかりでなく、破損の原因にもなります。

冷凍室

フリージングトレイ

必ず左端にセットしてください。

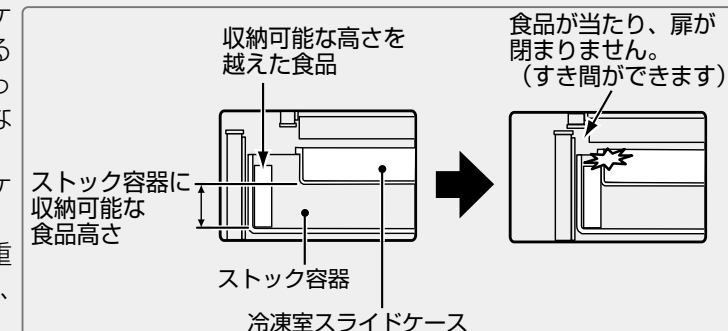
冷凍室スライドケース

- ケースの変形や割れを防ぐため、荷重は9kgまで。（GR−NF465G、NF465GLは11kgまで）
- 冷凍室スライドケースの下にあるストック容器の食品を出し入れするときは、この冷凍室スライドケースの手前を持ち上げながら押し込んでください。

ストック容器

容器の変形や割れを防ぐため、荷重は11kgまで。（GR−NF465G、NF465GLは13kgまで）

お願い

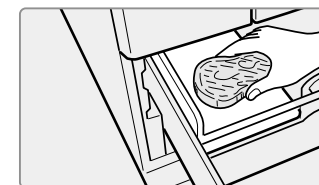
- ストック容器に入れる食品は冷凍室スライドケース底面より上に出ないようにしてください。扉を閉めたとき、冷凍室スライドケースに当たり、扉が閉まらなくなるため、冷気がもれ、冷えが悪くなったり、露付きの原因になるだけでなく破損の原因にもなります。
- 扉を閉めるときは冷凍室スライドケースを奥まで押し込んでください。冷凍室スライドケース内の食品が重たくなると、扉が閉まりにくくなり、半ドアの原因になります。

食品をすばやく凍らせたいとき（一気冷凍）

ホームフリージングするときにご使用ください。食品を素早く凍らせるのでおいしさを逃がさずに保存できます。

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

- 一気製氷中に一気冷凍を開始すると、一気製氷は終了します。

準備

食品をフリージングトレイの上に置く。

1 **「一気冷凍」が表示されるまで、（一気冷凍/製氷）ボタンを繰り返し押す。**

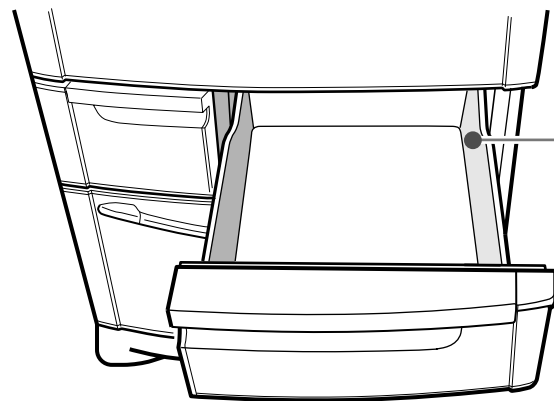
ボタンを押すたびにアラーム音が鳴り、設定が変わります。
アラーム音が「ピッ」と鳴り、「**一気冷凍**」が表示されていることを確認してください。

2 **約150分後、自動終了。（「一気冷凍」表示消灯）**

途中で中止するときは、
（一気冷凍／製氷）ボタンを2回押す。

アラームが「ピチチッ」と鳴り「一気冷凍」表示が消えるのを確認してください。
ボタンを押し間違えると、「一気冷凍」や「一気製氷」が再び開始されます。このようなときは表示が消えるまで、（一気冷凍/製氷）ボタンを繰り返し押してください。

切替室

●この切替室は冷凍・ソフト冷凍・パーシャル・チルド・冷蔵・野菜・ワインの温度帯に切替えることができます。

切替室ボックス

容器の変形や割れを防ぐため、荷重は8kgまで。（GR−NF465G、NF465GLは10kgまで）

お願い

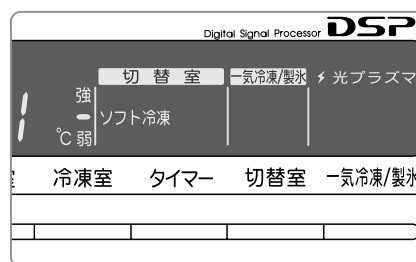
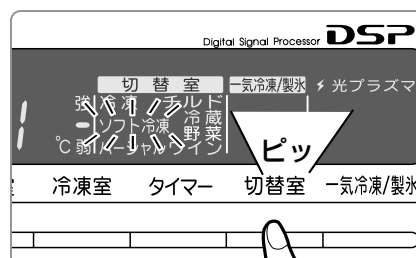
●**食品は容器の高さより上に入れないでください。**
扉が確実に閉まらなくなり、露や霜が付く原因になるばかりでなく、冷気もれにより、冷えが弱くなる原因になります。

切替えかた

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

1 設定したい温度帯が点滅表示されるまで（切替室）ボタンを繰り返し押す。

ボタンを押すたびにアラーム音が「ピッ」（冷凍のときのみ「チピピッ」）と鳴ります。

2 約10秒後、設定した温度帯だけが点灯表示し、設定完了。

お知らせ　ご使用状態（切替え状態）によって、消費電力量は変わります。

こんなときにお使いください

ワイン 約8℃
●ワインを飲み頃の温度に冷やしたいとき。（白ワイン・ロゼワイン・シャンパン）
*ワインを長期保存できません。

野菜 約5℃
●使いかけの野菜やつぶれやすい野菜・フルーツを分けて貯蔵したいとき。
*食品はラップするか密閉容器に入れてください。（野菜の乾燥防止のため）

冷蔵 約2℃
●食品のまとめ買いで、冷蔵室に入りきらないとき

チルドとは？
約0℃近辺の温度帯（食品が凍る直前の温度）

チルド 約0℃
●肉・魚・加工食品・発酵が進みやすい食品を多くお使いになるとき

パーシャルとは？
約-3℃近辺の温度帯（食品を微凍結させる）をいいます。肉や魚は微凍結しても、肉質があまり変化せず、チルドよりも長持ちします。

パーシャル 約−3℃
●かたまり肉や丸ごとの魚を多くお使いになるとき

ソフト冷凍とは？
チルドやパーシャルより保存性がよく、冷凍より貯蔵期間が短い温度帯ですが、冷凍より硬く凍らないので、調理加工が容易です。

ソフト冷凍 約−8℃
●凍結してもよい食品を2〜3週間程度貯蔵したいとき。食品が凍結するのに24時間程度かかることがあります。
*食品の種類によって、凍結しなかったり、硬く凍結することがあります。硬く凍結した場合、5〜15分、室温解凍すると切りやすくなります。
*アイスクリーム・冷凍食品は貯蔵できません。冷凍室で貯蔵してください。

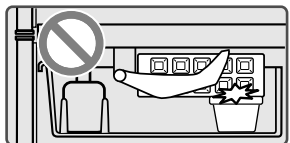
冷凍 約−17℃
●冷凍食品のまとめ買いで、冷凍室に入りきらないとき。
*冷凍に切替えたときはすぐに切替室の温度は変わりません。切替え操作をしてから約30分たってから食品を入れてください。

お願い
アイスクリームは冷凍室に入れることをおすすめします。

アイスルーム（自動製氷機）

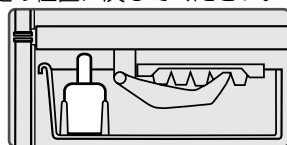
- 水あか、カビなどの発生を防ぐため、給水タンクは使用前に必ず水洗いしてください。
- お使いはじめや、1週間以上使わなかったときは、においやほこりが付いていることがありますので、「製氷皿おそうじ」（28ページ参照）をしてください。

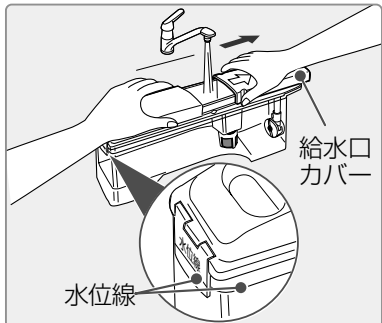
アイスボックス

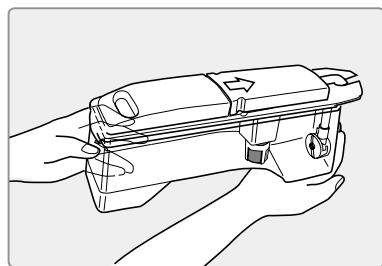
氷以外のもの（アイスシャベルや食品など）を入れないでください。
氷以外のものを入れると、回転した製氷皿に当たって破損したり、製氷を中止する原因になります。

給水タンク(約1.1L)
(浄水フィルター付き)

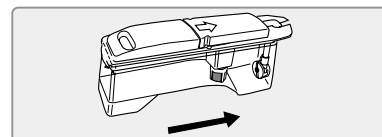
- 給水タンクには、熱湯（60℃以上）やジュースなど水以外の物は入れないでください。（故障の原因）
- 給水タンクを誤って落としたときはタンクの割れや水漏れがないか確認してください。

アイスシャベル

使用後は、所定の位置に戻してください。

氷のつくりかた

1 給水口カバーを矢印方向に開け、「水位線」まで水を入れ、給水口カバーを閉める。

2 給水タンクの本体を持ち、静かに運ぶ。

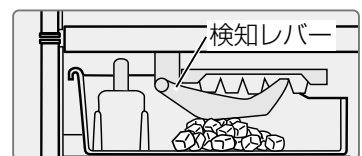
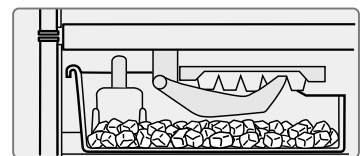
- タンクを傾けたり、ゆすったりすると、水がこぼれます。

3 給水タンクのレバーを手前にして、「タンク位置」まで押し込む。

- 給水タンク取り付け方向

お願い

- 使用する水は、塩素消毒された水道水をおすすめします。水道水以外の場合は、より念入りな清掃が必要です。
- 給水タンクを取り出すときには、レバーを持って引き出さないでください。給水タンクのフタが開き水がこぼれます。
- 給水タンクは「タンク位置」まで押し込んでください。押し込まないと、氷ができません。

製氷について

- 製氷は、検知レバーに氷が当たるまで続けます。
- アイスボックス内の氷は平らにならしてください。
  アイスルーム扉を開閉しないときなどは氷が部分的にたまるので、検知レバーが早くはたらき、製氷量が少ない状態で製氷が停止します。
- **周囲温度が低いときなど、給水タンクの水が凍ったときは、製氷を中止します。**
  この場合は氷を取り除いて水を入れなおし、各温度調節を「弱」にしてください。
- **次のようなときには、製氷時間が長くなります。**
  - 扉の開閉数が多いときや、一度に多量の食品を入れたとき。
  - 周囲温度が低い冬や、夏の暑いとき。
  - 冷蔵庫周囲の風通しが悪いとき。（8ページ参照）

  お使いはじめなど、アイスルームが充分冷えていないときは、最初の氷ができるまで約5～6時間かかります。
  （特に夏場など周囲温度が高いときには24時間以上かかることがあります。）

氷が部分的にたまると、早期に検知レバーへ氷が当たり、製氷量が少ない状態で製氷が停止します。

製氷量を正しく検知するために、氷を平らにならしてください。

製氷能力について

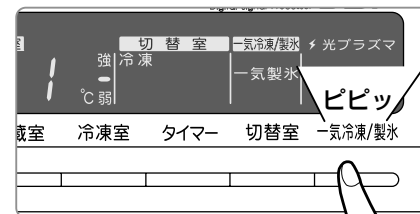
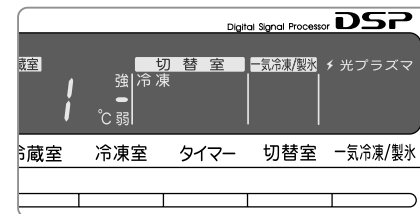
- 通常の製氷では約2時間に1回（角氷10個）、一気製氷では約1時間に1回製氷します。
  (周囲温度30℃、扉の開閉なし)
  製氷能力は冷蔵庫の使用状態や周囲温度で変わります。
- 貯氷量は、アイスルーム扉を開閉しないとき氷が部分的にたまったときで約60～100個（氷をたいらにならすとアイスボックス１段程度)、氷をたいらにならし、製氷を継続すると約150個貯氷できます。

氷を早くつくりたいとき（一気製氷）

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

- 一気冷凍中に一気製氷を開始すると、一気冷凍が終了します。
- 「**製氷オフ**」を設定しているときは一気製氷できません。

1 **「一気製氷」が表示されるまで（一気冷凍/製氷）ボタンを繰り返し押す。**

ボタンを押すたびにアラーム音が鳴り、設定が変わります。
アラーム音が「ピピッ」と鳴り、「**一気製氷**」表示が点灯していることを確認してください。

2 **アイスボックスの氷が一定量になると、自動終了。**
(「一気製氷」表示消灯)

途中で中止するときは、
（一気冷凍／製氷）ボタンを1回押す。

アラーム音が「ピチチッ」と鳴り「一気製氷」表示が消えるのを確認してください。
ボタンを押し間違えると、「一気冷凍」や「一気製氷」が再び開始されます。このようなときは表示が消えるまで、（一気冷凍/製氷）ボタンを繰り返し押してください。

お知らせ

- 一気製氷は検知レバーがはたらくまで継続します。
- 給水タンクに水がないときや、検知レバーがはたらいているときに、一気製氷を設定し、「一気製氷」表示が点灯しても、一気製氷は行いません。
  給水タンクに水を入れたり、検知レバーがはたらかなくなると、一気製氷は開始します。

製氷オフ（製氷中止）のしかた

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

すべての扉を閉めた状態で、（冷蔵室）（冷凍室）ボタンを同時に5秒以上押す。

アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、表示パネルには「製氷オフ」表示が点灯し、製氷は停止します。

- 製氷オフを設定すると、内部の製氷皿に残っている氷または水は製氷完了状態になり次第、アイスボックスに落とします。以後、製氷は停止します。
- 長期間、「製氷オフ」する場合、給水タンクの水を捨ててください。

製氷オフを解除する（製氷を開始する）

製氷オフのときと同じ操作をしてください。

操作のときに、設定表示が移動することがありますが、アラーム音と同時に元の状態に戻ります。なお、操作のしかたによって移動したままになることがありますので、設定位置を確認してください。

アイスルーム（自動製氷機）…つづき

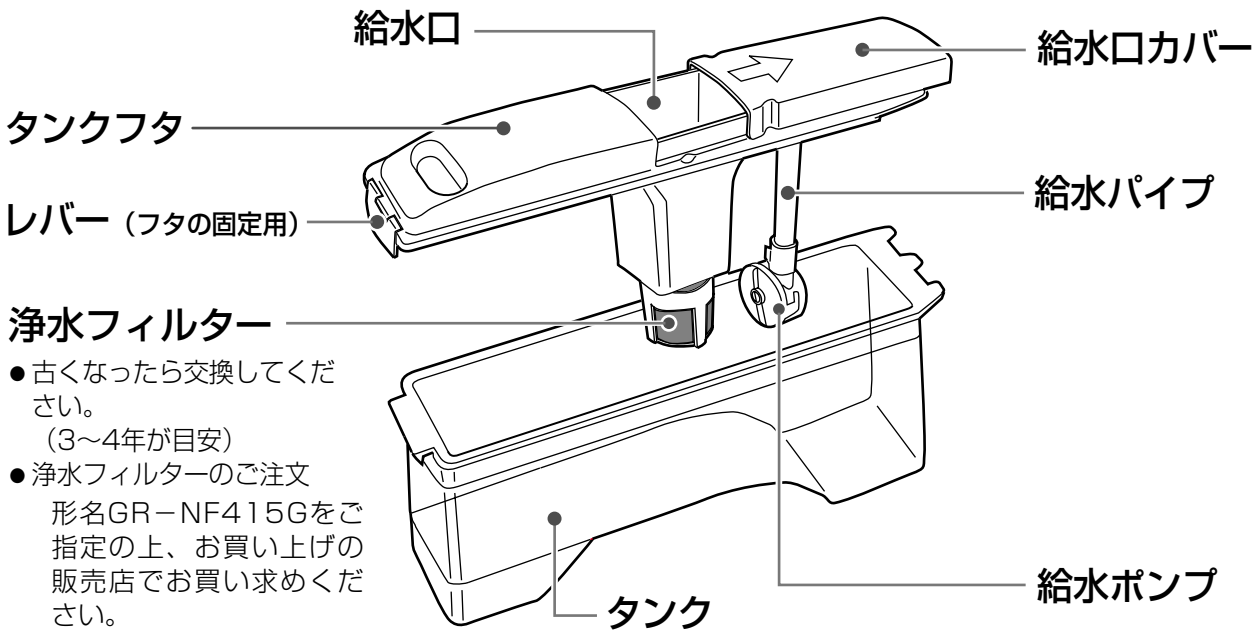
＊水あか、カビなどの発生を防ぐため、必ず水洗いしてください。

⚠警告

分解・改造・修理をしない
分解禁止
火災・感電・けが・やけどの原因になります。

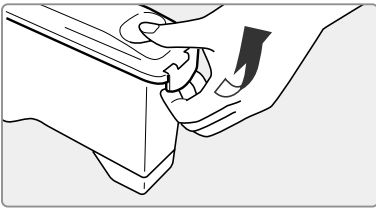
自動製氷機の製氷部分（アイスルームの上部）には手を触れない
接触禁止
製氷皿が回転したとき、けがをする原因になります。

お使いはじめと普段のお手入れ

給水タンク 各部品の耐熱温度は60℃です。

- 古くなったら交換してください。
  （3～4年が目安）
- 浄水フィルターのご注文
  形名GR－NF415Gをご指定の上、お買い上げの販売店でお買い求めください。

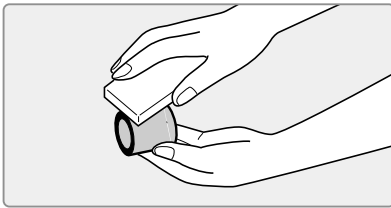
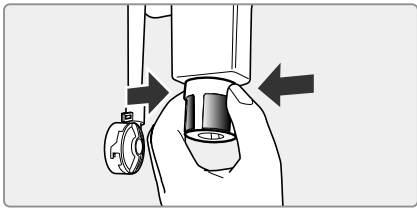
週1回のお手入れ

タンク・タンクフタ

フタのレバーを引き上げて、タンクフタをはずして、水洗いする。

浄水フィルター

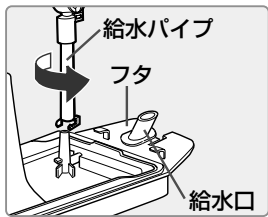
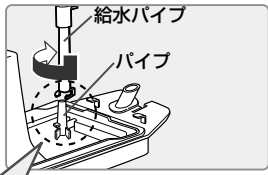
1 フィルターケースを矢印方向に押しながら引き抜きフィルターをはずす。

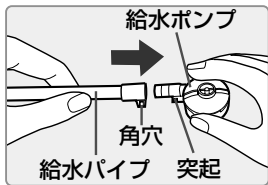
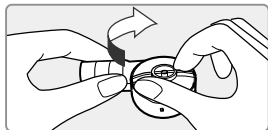
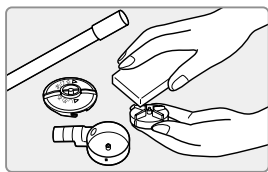
2 柔らかいスポンジで水洗いする。

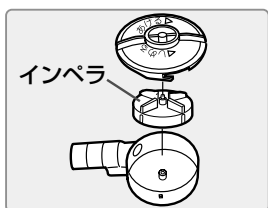
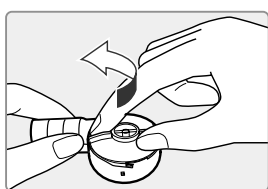
お願い

- **漂白剤・みがき粉・熱湯（部品の耐熱温度は60℃）・たわし・シンナー・ベンジンなどは、使わないでください。**
  （においや故障の原因）
- **水受けケースの取り付け場所（本体側）は水などを流して清掃しないでください。**製氷機の故障の原因になります。
- **お手入れ後、タンクフタを取り付けるときは、ツメをタンクの奥側の溝に引っ掛けてから、タンクフタを閉じ手前側のレバーを確実にはめ込んでください。**
  確実に取り付けないと、給水されず、氷ができなくなったり、給水ポンプの音が大きくなる原因になります。
- **タンクフタをタンクに取り付けたとき、給水ポンプがタンク後面と平行になっていることを確認してください。**
  確実に取り付けないと、給水されず、氷ができなくなったり、給水ポンプの音が大きくなる原因になります。

月1回のお手入れ

給水パイプ・給水ポンプ
取りはずしかた

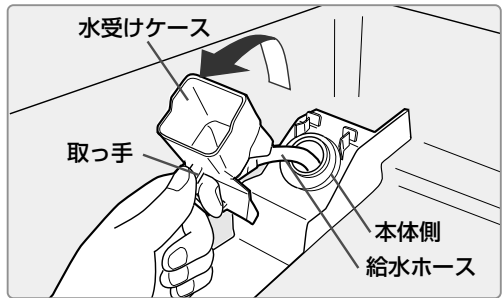
1 給水パイプを矢印方向に回してフタからはずす。
給水口は取りはずさないでください。
（故障の原因）

取り付けるときは
給水パイプをフタのパイプに止まるまで差し込み、図の矢印方向に止まるまで回してください。
止まるまで回さないと、給水しないことがあります。

2 給水パイプから給水ポンプを引き抜く

取り付けるときは
給水ポンプの突起が給水パイプの角穴に入るまで押し込んでください。

3 ポンプケースフタを矢印方向に回してはずす

4 給水パイプ・インペラ・ポンプケース・ポンプケースフタを柔らかいスポンジで水洗いする。

給水ポンプの組立かた

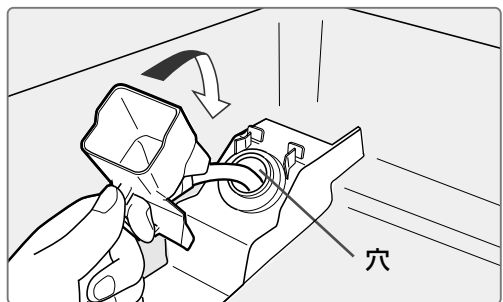
1 給水ポンプの部品をセットする

2 ポンプケースフタを矢印方向に回して取り付ける。
インペラは磁石でできています。モーターと磁石が接続され回転していますので、異物などが付着していないか確認してください。

年1～2回の点検

水受けケース

年1～2回程度、水受けケースを引き出して汚れの点検をしてください。水受けケースに水あかなどの汚れがあるときは、次の要領でお手入れしてください。

1 給水タンクを取り出してから、水受けケースの取っ手を持って、引き抜く

水受けケースを取り出したあとの本体側は、きれいな布で汚れをふき取る。
水を流したりしないでください。
（製氷機の故障の原因）

2 給水ホース内部に汚れがあるときは、市販のブラシで水洗いしてください。給水ホースは取りはずさないでください。
（故障の原因）

3 給水ホースを本体側の穴に入れ、止まるまで押し込むと、水受けケースが固定されます。
（水受けケースの取っ手が手前になっていることを確認してください。）

アイスルーム（自動製氷機）…つづき

製氷皿を洗いたいとき（製氷皿おそうじ）

お使いはじめや1週間以上製氷機を使わなかったときにしてください。

※「ボタンロック」表示（11ページ参照）が点灯しているときは、13ページの手順で「ボタンロック」を解除後、以下の操作をしてください。

- **キッチンタイマー動作中は「製氷皿おそうじ」はできません。**
- 操作前にアイスボックスの氷を取り出してください。（取り出した氷を保管するときは冷凍室に入れてください。）

1 **アイスボックスをからにし、底にきれいなタオルやふきんを敷き、アイスルーム扉を閉める。**

2 **「氷のつくりかた」（24ページ）の手順で、給水タンクに水を入れ、セットする。**

3 **すべての扉を閉めた状態で、（一気冷凍/製氷）ボタンを5秒以上押す。**

アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、「製氷皿おそうじ」が開始します。（途中で終了させることはできません）

「製氷皿おそうじ」中、表示パネルの照明と「おそうじ中」表示が点灯し、「ピッピッ…」とアラーム音は鳴り続けます。アラーム音が「ピー」と約3秒間鳴ると、「製氷皿おそうじ」が終了します。

- **「製氷皿おそうじ」は約1分で完了します。**
- 「製氷皿おそうじ」中は製氷皿へ給水し、製氷皿が回転して、氷・水をアイスボックスに落とします。
  なお、給水タンクの水が空になっても、製氷皿への給水動作と製氷皿の回転は行います。
- **アラーム音が停止するまで、アイスルーム扉を開けないでください。**

4 **アラーム音が停止後、アイスルーム扉を開け、アイスボックスに残った水・氷、タオルやふきんを取り出す。**

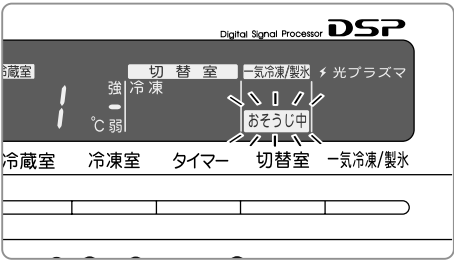
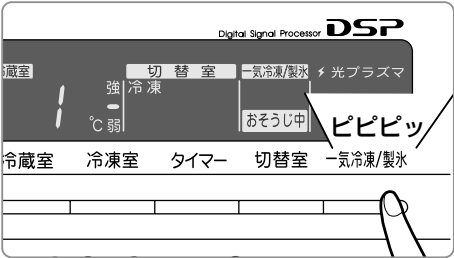
アラーム音が停止後、**アイスルーム扉を開け、閉めるまで、表示パネルの照明は点灯し、「おそうじ中」表示が点滅します。**

アイスルーム扉を閉めると、表示パネルの照明と「おそうじ中」表示は消灯します。

- 製氷皿おそうじ終了後、アイスボックス内の水・氷、タオルまたはふきんは必ず取り出してください。
  取り出さないで、「製氷皿おそうじ」を再度行うと、アイスボックスを取り出す時、冷凍室や床に水がこぼれやすくなります。
  また、取り出さないで扉を閉めて放置すると、アイスボックスにたまっている水が凍ります。

矢印方向にアイスボックスを取り出す。
取り出すときはアイスボックスの奥から水がこぼれない様、注意する。

5 **アイスボックス・アイスシャベルを水洗いし、水分をふき取ってから元に戻す。**

- **アイスボックスは必ず元の位置に戻してください。製氷機でできた氷が冷凍室に落ちます。**

このようなときには（自動製氷機）

このようなとき	説　　明
全く製氷しない	● 給水タンクのフタ（ツメ）や給水ポンプが正しく取り付けられていますか？（26、27ページ） ● 給水タンクに水が入っていますか？ ● 製氷オフ（表示パネルの製氷オフ表示が点灯）にしていませんか？ ● 冷蔵庫のご使用開始直後ではありませんか？ 充分冷えていないと、氷ができるまで約5～6時間位かかることがあります。 （特に夏場など周囲温度が高いときには24時間以上かかることがあります。） ● アイスボックスに冷凍食品などを入れたり、アイスシャベルを所定の位置以外に入れていませんか？ ● 給水タンクはタンク位置まで確実に入っていますか？ ● 給水経路の部品や給水タンクの部品の付け忘れはありませんか？（26、27ページ参照）
製氷量が少ない	● 半ドアになっていませんか？ ● 扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？ アイスルームの温度が上昇すると、製氷しないことがあります。 （夏は特に影響を受けやすい） ● 扉は確実に閉まっていますか？ ● 氷が部分的にたまっていませんか？（24ページ参照）
氷ににおいがある	● 給水タンクの水は古くありませんか？ 氷を使わないと、長期間給水タンクに水が残り、食品などのにおいが移ることがあります。 ● 浄水フィルターや給水タンクは、汚れていませんか？ ● においがある水や、水以外の飲料水を入れませんでしたか？ 氷を長期間使用しないと、食品などのにおいが氷に移ることがあります。 ● においの強い食品をむき出しで入れていませんか？ ● ツインプラズマの運転が停止（表示パネルの光プラズマ表示が消灯）していませんか？
氷がとけている 氷がつながっている	● 扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放し（半ドアなど）ていませんか？ ● アイスボックスを取り出してご使用になっていませんか？ ● 電源プラグが抜けていたり、停電になったことがありませんか？ ● 長期間貯氷したままにしていませんか？ 昇華して氷どうしがくっつくことがあります。 ● 製氷皿おそうじをした後、アイスボックス内の水を捨てましたか？
氷が丸くなっている	● 長期間貯氷したままにしていませんか？ 昇華して、かどがとれて丸くなることがあります。
白色氷になったり、沈でん物ができる	● 一気製氷・一気冷凍中は、氷が速くできるため、水分中の空気が氷の中央に閉じ込められ、気泡になって白く見えます。 ● ミネラル分の多い水（ミネラルウォーターなど）で製氷すると、白色沈でん物（カルシウム結晶）ができることがありますが、害はありません。
ゴトゴトやビィーンという音がする	● 氷が落ちるときのゴトゴト音ではありませんか？ 氷の落下音は氷が少ないと多少大きくなります。なお、氷の増加と共に音は小さくなってきます。 ● 給水タンクの水が空になると、給水ポンプが空運転しビィーンという音がするときがあります。冬場など自動製氷機をご使用にならないときには、自動製氷機を停止させてください。（25ページ参照） ● 給水タンクのフタ（ツメ）や給水ポンプなどは正しく取り付けられていますか？ 取り付けが不十分な場合、給水ポンプからガタガタという音がします。（26、27ページ参照）
おそうじ中表示が点滅している	● 製氷皿おそうじが終了しているためです。 アイスルーム扉を開け、閉めると、おそうじ中表示は消灯します。
給水タンクのセット位置に水がたまっている	● 給水タンクの水位線以上水を入れませんでしたか？ 水位線以上水を入れると、給水タンクをセットするときだけでなく、セット完了後にも水がこぼれることがあります。 ● 給水経路の部品や給水タンクの部品の付け忘れや、給水タンクのフタのセットが不完全ではありませんか？ フタのセットが不完全なときや部品を付け忘れると、水がこぼれることがあります。 （26ページ参照）

付属品の取りはずしかた

●取り付けかたは、取りはずしの逆の順序で。

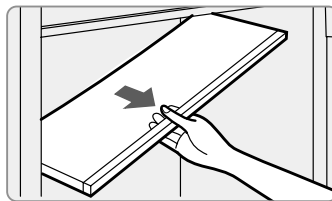
自在棚

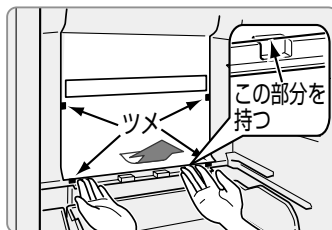
自在棚の取りはずしかたは18ページ参照。

透明棚

奥を持ち上げて、フックからはずし、引き出す。

3アクション棚

手前を押し込み、斜めにして取り出す。

クリアパネル

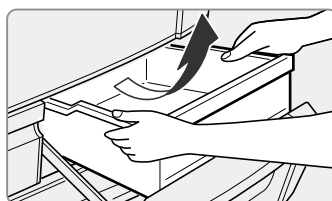
棚、チルドルーム天井板をはずしてから、下部を持ち上げながら手前に引く。（4カ所のツメがはずれ、クリアパネルがはずれます。）

アイスボックス・切替室ボックス

手前を持ち上げ、斜め上に取り出す。

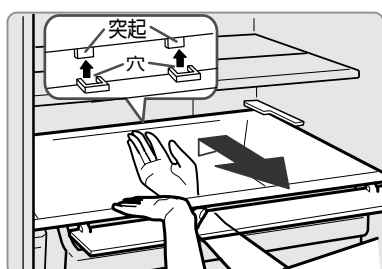
チルドルームフタ

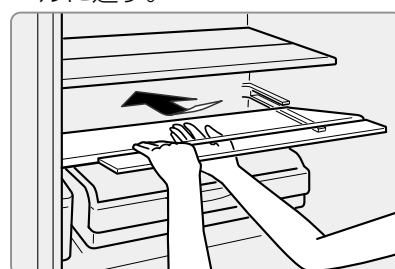
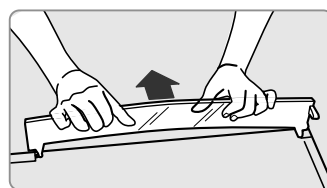
チルドルーム天井板をはずしたときに、万一フタがはずれたときは、チルドルーム天井板を取り付ける前に、次の要領で取り付けてください。

1 フタの片側の軸を天井板の穴に入れる。

2 フタをたわませて残りの軸を天井板の穴に入れる。

チルドルーム天井板

取りはずしかた

チルドケースを少し引き出した後、チルドルーム天井板を奥を持ち上げて、突起を冷蔵庫背面の穴からはずして、手前に引き出し、斜め上に取り出す。

取り付けかた

1 チルドケースを少し引き出し、チルドルーム天井板を斜め上から押し込み、本体左右にあるレールに通す。

2 チルドルーム天井板の奥を持ち上げながら押し込み、突起を冷蔵庫背面の穴に差し込む。

チルドケース

取りはずしかた

1 チルドルームフタを持ち上げて、底面奥右側にある突起（右図）がチルドルーム下部右側にある矢印部分（右図）横に来るまで引き出す。

2 左側が持ち上がるようにして（底面奥左側の突起がチルドルームの溝からはずれる）、さらに左へ動かして、底面奥右側の突起を矢印部分からはずす。

3 さらに手前へ引き出し、斜め上に取り出す。

取り付けかた

1 チルドルームフタを持ち上げて、斜め上から押し込む。

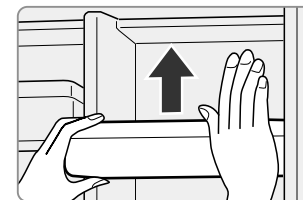
2 左側が持ち上がるようにして、底面奥右側の突起をチルドルーム下部右側にある矢印部分（右図）から溝に入れ、さらに底面奥左側の突起を溝に入れる。

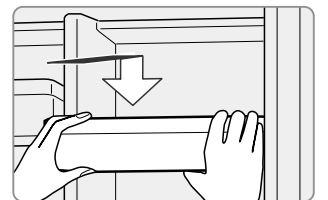
3 さらに奥に押し込む。

自在ドアポケット・ミニポケット・ダブルボトルポケット

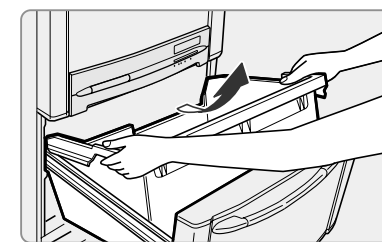
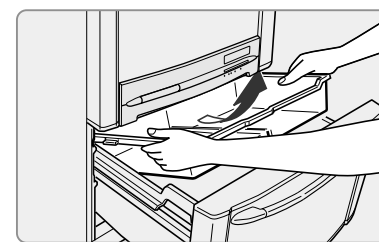
取りはずしかた

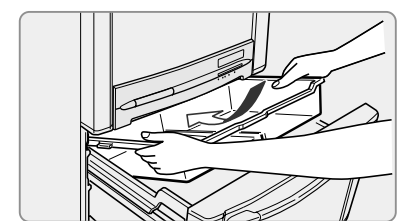
ポケットの左右を交互に軽く下から突き上げてはずす。
（取り付けは固くしてあります）

●ダブルボトルポケットの場合は、ミニポケットを先に、はずしてください。

取り付けかた

ポケットを止まるまで水平に差し込み、押し下げる。

野菜室スライドケース・野菜容器

1 扉を止まるまで引き出し、野菜室スライドケースを斜め上に取り出す。

2 扉を持ち上げながらさらに引き出して、野菜容器を斜め上に取り出す。

取り付けかた

扉を止まるまで引き出し、さらに持ち上げながら引き出して、野菜容器を取り付け、扉を持ち上げながら押し込み扉を閉める。次に再び、扉を止まるまで引き出し、野菜室スライドケースを斜め上から水平に押し込み、扉を閉める。

冷凍室スライドケース・ストック容器

1 扉を止まるまで引き出し、冷凍室スライドケースを斜め上に取り出す。

2 ストック容器を斜め上に取り出す。

取り付けかた

扉を止まるまで引き出し、ストック容器を取り付け、冷凍室スライドケースをストック容器の上に置き、扉を閉める。

お手入れ

⚠警告

分解・改造・修理をしない 火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
分解禁止

運搬・据えつけ・お手入れのときに背面・側面などの冷媒回路を傷つけない
冷媒回路を傷つけない
傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は以下の事項を行い、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センター（フリーダイヤル 0120-1048-41）にご連絡ください。
1.窓を開けて室内の換気を充分に行う。（換気扇を使用しないでください。）
2.火気や電気製品の使用を避ける。

お手入れのときは、電源プラグを抜く
プラグを抜く
感電やけがの原因になります。手がぬれているときは、よくふいてから電源プラグを抜き差ししてください。

- 普段は、からぶきしてください。
- 1年に2回程度、付属品をはずして水洗いしてください。

お手入れの手順

1 電源プラグを抜いてください。

2 布にぬるま湯を含ませてふいてください。

3 台所用中性洗剤をご使用になるときは必ずうすめてご使用ください。
洗剤使用後は、必ず洗剤を水ぶきし、さらにからぶきしてください。

お手入れ後の点検

感電や火災などの発生を防ぐため、次の点検をしてください。

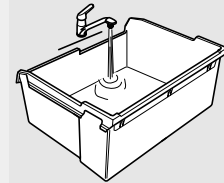
- 電源プラグに異常な発熱などがありませんか？
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

お願い

- みがき粉、粉せっけん、アルコール（エタノール・メチルアルコールなど）、ベンジン、シンナー、酸、アルカリ、ワックス、石油、熱湯、たわしなどは使わないでください。
（プラスチック部品が割れたり、塗装面を傷めます）
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 食用油が付いたときは、すぐにふきとってください。

水洗いする部品

冷蔵室・野菜室

- 自在棚
- 透明棚
- 3アクション棚
- チルドルーム天井板
- チルドルームフタ
- チルドケース
- 自在ドアポケット(大) (小)
- ミニポケット
- ダブルボトルポケット
- 卵ケース
- チューブスタンド
- 給水タンク
- 野菜容器
- 野菜室スライドケース

アイスルーム・切替室

- アイスボックス
- アイスシャベル
- 切替室ボックス

冷凍室

- 冷凍室スライドケース
- ストック容器
- フリージングトレイ

からぶきする所

操作パネル

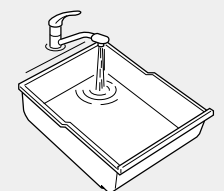
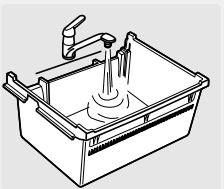
柔らかい布でからぶきする。
電源プラグを抜かずにお手入れすると、温度設定位置などが動くことがあるので、お手入れ後、温度設定位置などを確認する。

水ぶきする所（年1回程度）

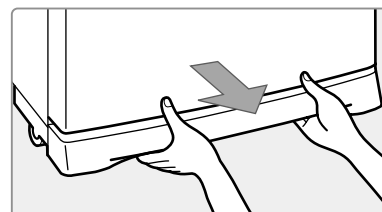
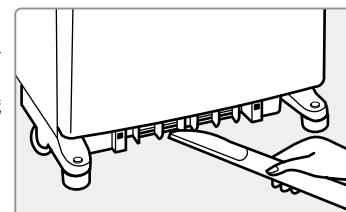
扉パッキンと本体側の吸着面

汚れると傷みやすく、冷気もれの原因になります。

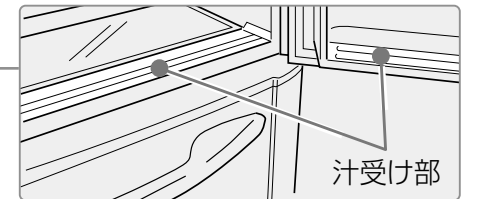
汁受け部

汚れや汁がたまったらふきとる。

ほこりを取る所（年1回程度）

前面グリル

手前に引いてはずしてください。取り付けは正面から押し込んでください。前面グリルの中に固定してある配線図は取りはずさないでください。

ほこりがたまっていると、冷却力が低下しますので、掃除機などでほこりを吸い取ってください。

冷蔵庫背面・床

・調整足が床から浮くまで回して冷蔵庫を引き出す。
・背面・壁・床の汚れをふく。

背面はほこりがたまったり、空気の対流で細かいほこりが付着しやすい所です。

おかしいなと思ったら
お調べください

● 自動製氷機については、29ページ参照

このようなとき	説　　明
全く冷えない	● 電源プラグが抜けていませんか？ ● ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？
よく冷えない（操作パネルの温度表示が高くなる）	● 切替えた設定位置から動いていませんか？（切替室がよく冷えないとき） ● 温度調節が「弱」になっていませんか？ ● 食品を詰めすぎたり、半ドアになっていませんか？ ● 扉をひんぱんに開けたり、熱いものや一度に多量の食品を入れていませんか？ ● 直射日光があたったり、そばにガステーブルやストーブがありませんか？ ● 冷蔵庫の周囲にすき間がありますか？ ● 冷凍食品やアイスルームの氷が冷凍室の奥に落ちたり、扉に食品の袋などがはさまって扉にすき間ができていませんか？ ● 切替室が「ソフト冷凍」のときに、市販の冷凍食品やアイスクリームを入れていませんか？ 「ソフト冷凍」では冷凍食品やアイスクリームが溶けてしまいます。（23ページ参照） ● 運転開始直後ではありませんか？ ● 霜取り中または霜取り直後ではありませんか？ ● 扉を長時間開け放していませんか？
食品が凍結する	● 温度調節が「強」になっていませんか？ ● 冷蔵庫の周囲温度が５℃以下ではありませんか？ ● 水分が多い食品を冷蔵室の奥やチルドルーム・切替室に入れていませんか？ ● 切替室をパーシャルなどの温度が低い位置にセットされていませんか？（切替室の食品が凍結するとき）
ガタガタ、ゴトゴトという音がする	● 床はしっかりしていますか？ ● 冷蔵庫の周囲にお盆や容器などが落ちていませんか？ ● 冷蔵庫がガタついたり、周囲の壁に触れていませんか？ ● 冷蔵庫の運転停止直後や開始時には、圧縮機の運転音がやや大きくなりますが、異常ではありません。
庫内のにおいが気になる	● においの強い食品をむき出しで入れていませんか？ ● ツインプラズマの運転が停止（表示パネルの「光プラズマ」表示が消灯）していませんか？
冷蔵室扉を開けたとき、天井からの冷気（エアーカーテン）が出ない	● エアーカーテンが出ない場合は、霜取り中です。
扉を閉めるとほかの扉が一瞬開く	● 扉を閉めるときの風圧を逃がすためです。
時々運転音が大きくなる	● この冷蔵庫はインバーター圧縮機を採用しています。 一気冷凍、一気製氷中や扉の開閉が多いとき、また周囲温度が高いときや霜取り後は高速運転に変わり、音が大きくなることがあります。

つづく…

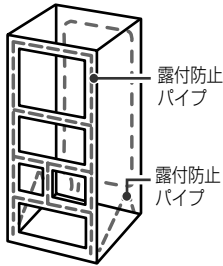
このようなとき	説　　明
アラーム音がする	● 扉の閉め忘れ防止のアラーム音です。 冷蔵室・アイスルーム・冷凍室のいずれかの扉が1分間以上開いているとアラーム音が鳴ります。 また、3分以上開いたままになると、鳴り続けます。 ● 製氷皿おそうじ中（表示パネルの「おそうじ中」表示が点灯）ではありませんか？ 製氷皿おそうじ中（約1分間）はアラーム音が鳴り続けます。
水が庫内・床にあふれる	● 自動製氷機の水を抜かないで冷蔵庫を移動・運搬していませんか？ ● 蒸発皿の水がこぼれたのではありませんか？（38ページ） ● 給水タンクの水位線以上、水を入れたり、給水タンクのフタのセットが不完全ではありませんか？（26ページ参照） ● 製氷皿おそうじ終了後、アイスボックスを取り出したときに水をこぼしていませんか？
表示パネルの照明が点滅する	● 冷蔵室・アイスルーム・冷凍室扉のいずれかが、半ドアになっていませんか？ 1分以上扉が半ドアになると、ドアアラームが鳴り、表示パネルの照明が点滅します。（16ページ参照） ● 冷蔵庫に異常が生じたときに表示パネルとメニュー項目表示が点滅します。 いずれかのボタンを押すと、約10秒後に故障コードが庫内温度表示部に表示されますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。 （故障コードが1分後に消え、メニュー項目表示の点滅は継続します。）
操作ボタンを押しても動作しない	● 操作パネルにボタンロックが表示されていませんか？ ボタンロックされていると､ボタンを押しても表示パネルの照明は点灯しますが､動作はしません。（13ページ参照）
冷蔵庫の外側に露が付く	● 特に湿度が高いときに露が付くことがあります。 ● 食品を詰めすぎたときなど、半ドアになると露が付くことがあります。 露が付いたときは、乾いた布でふきとってください。
冷蔵庫の内側に露が付く	● 扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？ ● 半ドアになっていませんか？ ● 水気の多い食品をムキ出しで入れていませんか？ ● 冷蔵室内は湿度を高く保っているため、ビン類や缶類・食品の周囲に露が付くことがあります。露が付いたときは布でふきとってください。 ● 切替室を冷凍から他の温度帯に切替えたとき、切替室に露が付くことがありますが、異常ではありません。露が付いたときは布でふきとってください。
野菜室に露が付く	● 半ドアになっていませんか？ ● 野菜室は湿度を高く保っているため、露が付くことがあります。 露が付いたときは布でふきとってください。
水が流れるような音や沸騰するような音（ボコボコ）、肉を焼くような音（ジュッ）がする	● 冷却装置内を流れる冷媒や霜取りヒーターから発生する音で、冷蔵庫の運転停止後も、音がすることがあります。

お調べください…つづき

このようなとき	説　　明
切替室、野菜室を開けるとブーンという音がする	● 冷却用のファンが回転する音で、異常ではありません。
冷蔵室扉を開けるとブーンという音がする	● 冷蔵室の冷気もれを防ぐエアーカーテン（冷却用ファンが回転しているとき）の音で異常ではありません。
扉が自動で開かない・開けるのが重い	● 電源プラグが抜けていたり、停電ではありませんか？ ● 表示パネルに「自動扉オフ」が表示されていませんか？ 7ページをご覧になり「自動扉オフ」を解除してください。 ● 扉を閉めた直後にすぐ扉を開けようとすると、扉が開かなかったり、重く感じることがあります。これは庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に庫外より低くなるためです。
温度表示しない	●「H」表示していませんか？（11ページ参照） ● キッチンタイマーを設定していると庫内温度を表示しません。
時々ビィーンという音がする（約5秒間）	● 給水タンクの水が空になっていませんか？ 給水タンクの水が空になると、給水ポンプが空運転しビィーンという音がすることがあります。冬場など自動製氷機をご使用にならないときには、自動製氷機を停止させてください。（25ページ参照）
扉を開けると（ポコン）という大きな音がする	● 自動で扉が開くときに、冷蔵庫本体のピンが扉を押す「ポコン」という音がします。また、半ドアのときには特に大きな音がしますが異常ではありません。
庫内から音（ピシッ）がする	● 温度変化により、部品がきしむ音です。
ヒューンという音がする	● 扉を開閉したときや、冷蔵庫の運転開始時および停止時に一時的に発生する冷却用ファンの音で、異常ではありません。

以上のことをお調べになり、それでもぐあいの悪いときは、すぐにお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

冷蔵庫の周囲が熱くなる

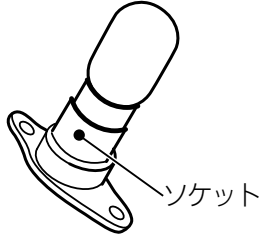
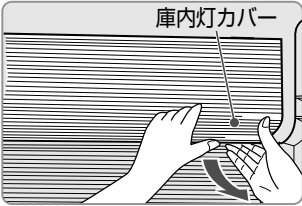
冷蔵庫の周囲には、図のように露付防止パイプを内蔵して、冷蔵庫に露が付くのを防止しています。
お使いはじめや周囲温度が高いときなどには、特に熱く感じられますが、庫内の食品には影響ありません。

こんなときには

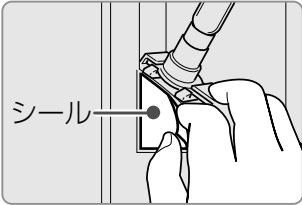
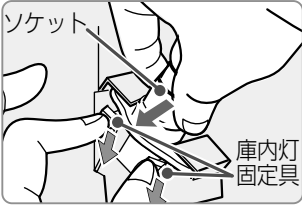
庫内灯を交換するとき

⚠警告

プラグを抜く

庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く
抜かずに行うと、感電の原因になります。

庫内灯について
庫内灯の電球はソケットと一体になっています。庫内灯を交換するときは電球を回さないでください。

1 **電源プラグを抜く。**
2 **自在棚を取り出す。**
3 **庫内灯カバーの下部のツメを押し、庫内灯カバーをはずす。（ツメは左右2カ所あります）**

4 **シールをはがす。**
庫内灯交換後は、お買い上げいただいた庫内灯に付属のシールを張りつけてください。
手順4以降は左側の庫内灯で説明しています。

シール

5 **庫内灯固定具を押し、ソケットを持ち、引き出す。**

6 **コネクターを持ち、ソケットを引っ張って抜く。**
（庫内灯は形名GR−NF415Gをご指定の上、お買い上げの販売店でお求めください。）

冷蔵庫を廃棄処分するとき

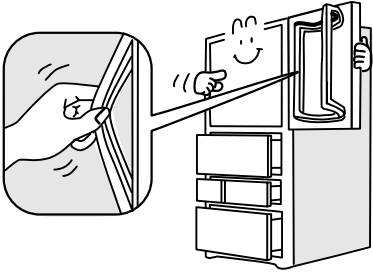
⚠警告

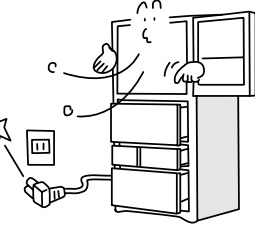
パッキンはずす

廃棄処分するときは、扉パッキンをはずす
幼児が閉じこめられ事故の原因になります。

強制

廃棄処分するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置し、冷媒がもれると、火気による発火・爆発の原因になります。

● 幼児が遊ぶ場所に放置しないでください。
※再資源化のため、主なプラスチック部品には材料名を表示しています。

長期間使わないとき

● 庫内を掃除し、自動製氷機の氷や水を捨て2〜3日間扉を開けて乾燥させてください。
（かびやにおいを防ぐため。
また、冷蔵庫を長く使っていただくためにも、することをおすすめします。）

停電したとき

● 扉の開閉を少なくして、新たな食品の貯蔵はさけてください。
（庫内の温度が高くなる）

電源プラグを抜いたときやヒューズ・ブレーカーが切れたとき

● すぐに入れますと圧縮機にむりがかかり、故障の原因になります。
5分以上待ってから入れてください。
なお、庫内温度や圧縮機の始動状態によっては、圧縮機保護タイマーが働き、電源プラグを入れてから6分間程度運転しないことがあります。

こんなときには…つづき

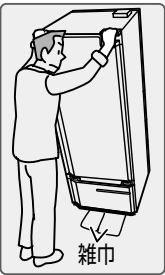
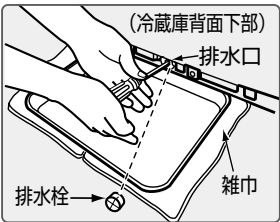
移動・運搬をするとき

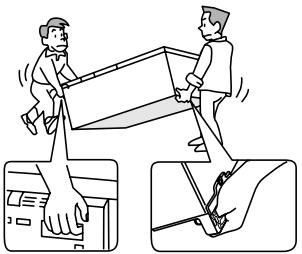
■ 移動・運搬をする前に

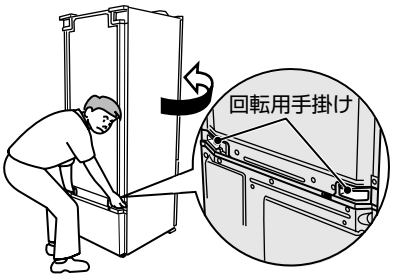
1 庫内の食品を取り出し、給水タンクの水を捨てる。
2 自動製氷機の氷を捨てる。
（28ページ「製氷皿おそうじ」の手順3、4を順に行います。手順4で「タオルまたはふきん」という記載がありますが、この項では関係ありません）
3 電源プラグを抜く。
4 前面グリルをはずし、移動用車輪が床につく様、調整足を上げる。
5 転倒防止ベルトを取り付けているときは、はずす。
6 冷蔵庫を手前に引き出す。
7 背面下部にある蒸発皿の水を抜く。
●蒸発皿の水の抜きかた
(1)排水口の下に水を受ける容器（高さ2cm以下）を置く。
水がこぼれる場合があるので、容器の下やまわりに雑巾を敷いてください。
(2)排水栓を回してはずす。
(3)排水口奥にある薄膜をドライバーなどで突き破る。（2回目以降は不要です。）
(4)水が出なくなるまで水を抜く。

(5)まだ、少量の水が残っていることがあるので、背面上部の運搬用手掛けを持ち冷蔵庫を傾けて、水が出なくなるまで水を抜く。
（容器が冷蔵庫に当たり、冷蔵庫を傾けることができない場合、右図のように容器を退けてから水が出なくなるまで雑巾の上に水を出す。）

●蒸発皿の水が少ないときは、排水口から水が出てこないことがあります。
8 排水栓を閉める。
（水もれ防止のため、必ず、栓をしっかりと閉めてください。）

（冷蔵庫背面下部）
排水口
排水栓
雑巾

■ 移動・運搬をする

2人以上で運搬する。
● 冷蔵庫を運搬するときは、通路に保護シートを敷いてから行ってください。
蒸発皿の水が完全に抜けていないことがあり、水が床面にこぼれることがあります。
● 冷蔵庫を運搬するときは、必ず取っ手を持ち、ハンドルや扉を持たないでください。
冷蔵庫が落下したり、破損することがあります。

階段の踊り場などで向きを変えたいとき

一度本体を起こし、回転用手掛けを持ってゆっくりと押して回す。
（傷のつきやすい床では保護用の板などを敷く）

転居のとき

● 横積みしないでください。（圧縮機の故障の原因）
● 50／60Hz共用です。（周波数の切換えは不要）

仕様

●定格内容積の<　>内は食品収納スペースの目安です。

仕様／形名		GR-NF415G, GL	GR-NF465G, GL
全定格内容積		407L	457L
	冷蔵室	201L	224L
	野菜室	108L <62L>	122L <71L>
	アイスルーム	13L < 6L>	13L < 6L>
	切替室	22L <16L>	27L <19L>
	冷凍室	63L <35L>	71L <41L>
外形寸法	幅	600㎜	665㎜
	奥行	694㎜	699㎜
	高さ	1798㎜	1798㎜
定格電圧		100V	
定格周波数		50/60 Hz共用	
電動機の定格消費電力		150/150 W	160/160 W
電熱装置の定格消費電力(霜取り時)		103/103 W	116/116 W
消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
製品質量		86kg	91kg

付属品	
自在棚 …………1	アイスボックス …1
透明棚 …………1	給水タンク ………1
3アクション棚 …1	アイスシャベル …1
チルドケース …1	切替室ボックス …1
チルドルーム天井板 …1	冷凍室スライドケース…1
自在ドアポケット（小）…2	フリージングトレイ …1
自在ドアポケット（大）…2	ストック容器 ……1
ミニポケット ………1	野菜室スライドケース…1
卵ケース ………1	野菜容器 …………1
ダブルボトルポケット …1	前面グリル ………1
チューブスタンド …1	

冷凍室（フリーザー）の性能について

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。

●冷凍室の性能
日本工業規格（JISC9607）に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって、表示しております。

記号	＊＊＊＊ フォースター	＊＊ ツースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下	－12℃以下
冷凍食品貯蔵期間の目安	約3ヵ月	約1ヵ月

●冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、上表の期間は一応の目安です。
●JISの試験方法は次のとおりです。
(1)冷蔵室内温度が、0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるように温度調節位置を調節して試験します。
(2)冷蔵庫の据えつけ場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
(3)冷凍室有効内容積100L当り4.5kgの食品を24時間以内に－18℃以下に冷凍できる冷凍室をフォースター室としています。

冷蔵庫の消費電力量について

冷蔵庫の消費電力量は、従来JIS C 9607の消費電力量試験方法により測定し表示してきましたが、1999年3月からJIS C 9801の消費電力量試験方法による表示に変更しました。また、冷蔵庫の消費電力量は季節により変化することからその表示は従来の「1ヵ月当たり」から「年間」の値に変更されました。

消費電力量の測定基準（JIS C 9801）

種類	庫内温度		扉開閉回数	周囲温度と湿度	消費電力量の表示
冷凍冷蔵庫［スリースター］［フォースター］機種	冷蔵室	5℃以下	25回/日	25℃ 70±5%	年間消費電力量(kWh/年) =W25×365日/年
	冷凍室	－18℃以下	8回/日		
冷蔵庫	冷蔵室	5℃以下	25回/日		
冷凍庫	冷凍室	－18℃以下	8回/日		
備考	★ 消費電力量は、周囲温度や湿度、扉の開閉頻度そして新しく入れる食品の温度・量などによって変化します。				W25：周囲温度25℃での1日当りの消費電力量（kWh/日）

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買いあげの販売店にご相談ください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- この東芝冷凍冷蔵庫には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。ただし、冷凍サイクル（圧縮機・凝縮器・冷却器）・冷却器用ファン・冷却器用ファンモーターについては5年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- 冷凍冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後９年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

29、34ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。また、**食品の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。**

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	東芝冷凍冷蔵庫
形名	
お買いあげ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買いあげの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

廃棄時のお願い

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
- ビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

OFHL-C